



Adobe Illustrator

文字組みの手引き

〈日本語組版入門〉

ver 2 / 20260430

\*このドキュメントは、Adobe Illustrator 2026 (v30.4)の仕様を基準に作成されています。

## 文字組みの手引き 〈日本語組版入門〉

# 基本編

### 事前準備

- ① 文字組みに使用する単位を確認する..... 03
- ② 文字組みに必要なパネルを確認する..... 04

### 文字パネル

- ① 文字パネルでできること..... 05
- ② 文字の大きさ  
行送り値（文字サイズ+行間）を設定する..... 06
- ③ 文字の幅・高さを変更する（平体・長体にする）..... 07
- ④ 「カーニング」と「トラッキング」で字間を調整する.... 08
- ⑤ 自動カーニングで複数の字間を一括調整する..... 09
- ⑥ 自動カーニング「和文等幅」とペアカーニング..... 10
- ⑦ 自動カーニング「メトリクス」と  
「プロポーショナルメトリクス」..... 11
- ⑧ 自動カーニング「オプティカル」..... 12
- ⑨ 文字の左右にある余白をつめる「文字ツメ」..... 13
- ⑩ 文字前後のアキ量を調整する「アキを挿入」..... 14
- ⑪ 「ベースラインシフト」で文字の位置を微調整する..... 15
- ⑫ 「文字の回転」を使って文字の向きを変更する..... 16
- ⑬ 文字を上付き・下付きにする  
文字に下線・取り消し線を引く..... 17
- ⑭ 「縦組み中の欧文回転」と  
「縦中横」で縦組みの英数字を調整する..... 18
- ⑮ そのほかの文字パネル関連機能..... 19

### 段落パネル

- ① 段落パネルでできること..... 20
- ② テキストを左・中央・右揃え  
上・中央・下揃えにする..... 21
- ③ 「インデント」を使って  
テキストにマージンを設定する..... 22
- ④ 「段落前／後のアキ」を使って  
段落前後の行間を調整する..... 23
- ⑤ 「禁則処理」で行頭・行末に  
置かない文字等を定める..... 24
- ⑥ 「文字組み」を使って  
約物・英数字の組みかたを決める..... 25
- ⑦ 「ぶら下がり」を使って  
句読点をテキストエリア外に置く..... 26
- ⑧ 「行送りの基準位置」と「文字揃え」の設定..... 27
- ⑨ そのほかの段落パネル関連機能..... 28

## 文字組みの基本／事前準備①

# 文字組みに使用する 単位を確認する

作業を始める前に、文字組みに使用する単位を確認します。Illustrator で使われているテキストの単位は、デフォルトではポイント (pt) が使用されています。この設定は「環境設定」の「単位」で変更することができます。

「単位」の設定のうち、文字組みに関連した項目は、「文字」「東アジア言語のオプション」の2つです。

「文字」は、テキストサイズの指定に使用する単位を決める項目、「東アジア言語のオプション」は行送りの指定に使用する単位を決める項目です。

「級」「齒」はいずれも0.25mmを1単位とする日本語組版特有の単位で、Illustratorのパネル上では「級」は「Q」、「齒」は「H」と表示されます。Q・Hには、ミリメートル基準の単位のため、誌面の設計がしやすい／文字サイズと行送りに個別の単位が割り当てられるため、指定がわかりやすいというメリットがあります。

※本ドキュメントでは、文字サイズは「級」、行送りは「齒」を基準に解説をします。各単位の表記はQ・Hとします。

「文字」では、テキストサイズの指定に使用する単位を決定します。デフォルトの「ポイント」のほか、「インチ」「ミリメートル」「級」「ピクセル」から選択できます

「東アジア言語のオプション」では、行送りの指定に使用する単位を決定します。デフォルトの「ポイント」のほか、「インチ」「ミリメートル」「齒」「ピクセル」から選択できます

**ポイント (pt) \*デフォルトの単位**

**1pt = 0.353mm**

**級 (Q) と 齒 (H)**

**(Q=Quarter...1/4mm = 0.25mm)**

**1Q = 1H = 0.25mm**

**4Q = 4H = 1mm**

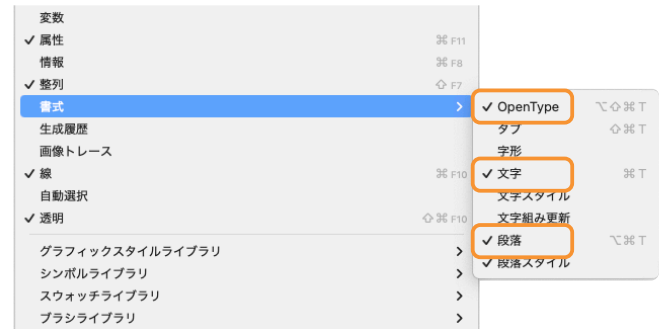
Q・Hは1単位=0.25mm、4単位=1mmになることから、mm基準のレイアウト設計と相性のよい単位といえます

## 文字組みの基本／事前準備②

# 文字組みに必要な パネルを確認する

Illustratorで適切な文字組みを行なうために必要なパネルは、「文字」「段落」「OpenType」の3つです。

文字パネルでは、フォント（書体）、文字サイズ、行送りのほか、字間に関する設定を行ないます。段落パネルでは行の揃えかた、禁則処理のルール、文字の並びによって適切なスペース（アキ）を挿入する文字組み設定に関する設定を行ないます。OpenTypeパネルはOpenTypeフォントがもつさまざまな機能にアクセスするためのパネルです。文字組み作業を行なう際には、常にこのパネルを表示しておきましょう。



文字組みの設定に必要なパネルは、「ウィンドウ」メニューの「書式」から表示することができます

## 文字パネル



## 段落パネル



## OpenType パネル



## 文字組みの基本／文字パネル①

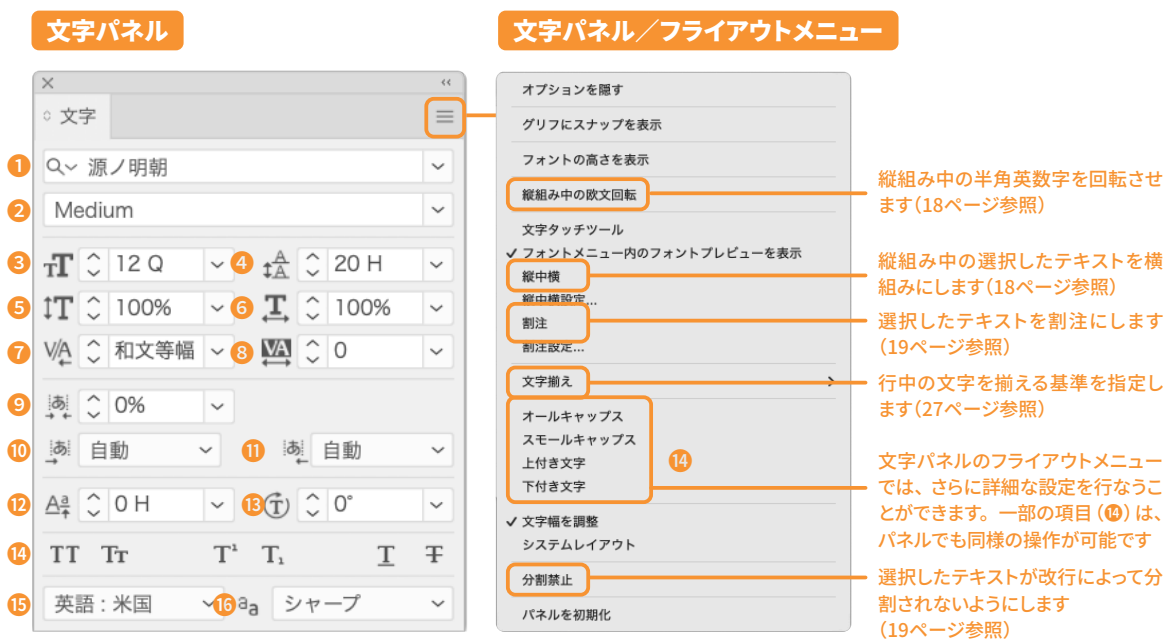
# 文字パネルで できること

文字パネルは、Illustratorでテキストを扱う際、もっとも基本的な設定を行なうためのパネルです。フォント(書体)、文字サイズ、行送りのほか、文字に対してさまざまな調整を加えることができます。

日本語組版で特に重要な設定は、文字サイズ(③)、行送り(④)、カーニング(⑦)です。

目的に合わせて文字サイズを設定すること(③)、文字サイズと行長に応じて十分な行間が確保できる行送りを設定すること(④)、組みかたに合った字間調整をすること(⑦)によって、テキストをより見やすく、読みやすく上げることができるようになります。

各項目の設定については、次ページ以降で解説しています。



- ① フォント(書体)を指定します
- ② フォントのウェイト(太さ)、スタイル、バリエーションを指定します
- ③ フォントのサイズ(文字の大きさ)を指定します。単位は「環境設定／単位」の「文字」の項目で指定されたものが使用されます
- ④ 行送りの値を指定します。単位は「環境設定／東アジア言語のオプション」で指定されたものが使用されます(03・06ページ参照)
- ⑤ 文字の垂直比率を変更します。デフォルト値は100%で、200%にすると文字の高さは2倍に、50%にすると文字の高さは半分になります
- ⑥ 文字の水平比率を変更します。デフォルト値は100%で、200%にすると文字の幅は2倍に、50%にすると文字の幅は半分になります
- ⑦ カーニング値を指定します。文字間にカーソルがあるときは個別のカーニング値を指定できます。複数

の文字を選択しているときは、選択された文字全体に対して自動カーニングを適用できます。自動カーニングには「和文等幅／メトリクス／オプティカル」の3種があります(08～12ページ参照)

- ⑧ トラッキング値を指定します。個別の文字間を調整するカーニングに対して、トラッキングでは選択した文字全体の文字間を均一に調整できます(08ページ参照)
- ⑨ 文字ツメ量を指定します。フォントがもつ文字に含まれる左右の余白(サイドベアリング)を圧縮する機能で、100%のとき、隣り合う文字は余白なく並びます。カーニング、トラッキングと併用すると、文字が重なることがあります(13ページ参照)
- ⑩ ⑪ 選択した文字の前(⑩)または後(⑪)に設定されたアキ量を変更します。デフォルトの「自動」のとき、アキ量は、段落パネルの「文字組み」で指定された文字組みアキ量設定に従います。「文字組み」の設

定が「なし」のときは機能しません(14ページ参照)

- ⑫ 選択した文字のベースライン位置を変更します。横組みでは上下、縦組みでは左右に文字をシフトさせることができます(15ページ参照)
- ⑬ 選択した文字を指定した角度で回転させます。複数の文字に対して適用した場合でも個別に回転します(16ページ参照)
- ⑭ 選択した文字をオールキャップ／スモールキャップ／上付き／下付きに変更する、または選択した文字に下線／取り消し線を設定することができます。この機能では、OpenType フォントがもつ上付き文字、下付き文字などの専用のグリフは使われません(17ページ参照)
- ⑮ 指定した言語でスペルチェックやハイフネーションを行いません。通常は「英語:米国」を使用します
- ⑯ アンチエイリアスの種類を設定します。通常はデフォルト値の「シャープ」を使用します

## 文字組みの基本／文字パネル②

# 文字の大きさと 行送り値(文字サイズ+行間)を設定する

文字の大きさは、文字パネルの「フォントサイズを設定」欄で指定します。単位は「環境設定／単位」の「文字」で指定したものが使用されます。指定方法はプルダウンから選択する、または直接数値を入力します。

印刷物での標準的な文字サイズの目安は以下の通りです。

- ・本文…11～13Q
- ・キャプション…9～10Q
- ・小見出し…14～16Q

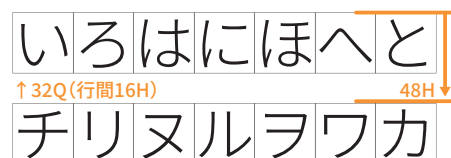
行送りは、文字パネルの「行送りを設定」欄で指定します。日本語組版の場合、行送りとは「基準となる行の上から次の行の上までの距離（送り量）」を指し、行送り値は文字サイズに行間を加えたものになります。単位は「環境設定／単位」の「東アジア言語のオプション」で指定したものが使用されます。本文での設定値は、文字サイズに対して150%（行間二分）～175%（行間二分四分）が標準的ですが、書体や組みかたによって、適宜、調整を行ないます。



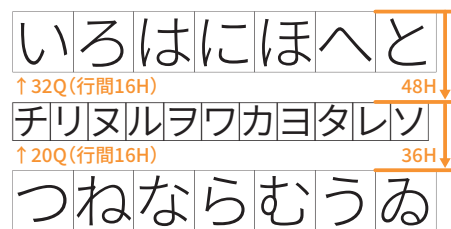
プルダウンから選ぶ、または数値を入力して文字サイズを指定します。カーソルキーで値を増減することもできます



数値のみ入力した場合は環境設定で指定された単位が使用されますが、単位を含めて入力することで、任意の単位で数値指定をすることもできます。値は指定された単位に自動変換されます



標準的な日本語組版の場合、行送りの値は文字サイズ+行間で算出します。行内の文字に異なる行送り値が設定されている場合、もっとも大きい値が反映されます



行間は、行間に対して前の行の行送り値で決定されます。異なる文字サイズが混在するテキストで、行間を統一する場合、行ごとに行送り値を変更する必要があります。上記の例では、1行目の行送りは32Q+16H=48H、文字の小さい2行目の行送りは20Q+16H=36Hに設定することで、行間を16Hにしています

プルダウンから選ぶ、または数値を入力して行送り値を指定します。カーソルキーで値を増減することもできます。「自動」を選ぶと、行送り値は文字サイズの175%に設定されます（行間二分四分）。自動行送りの値は、段落パネルのフライアウトメニューにある「ジャスティフィケーション」で変更することができます（28ページ参照）

## ショートカット | 行送り値の増減

横組みの場合  
**option(Alt) + ▲▼**

縦組みの場合  
**option(Alt) + ◀▶**

## 文字組みの基本 / 文字パネル③

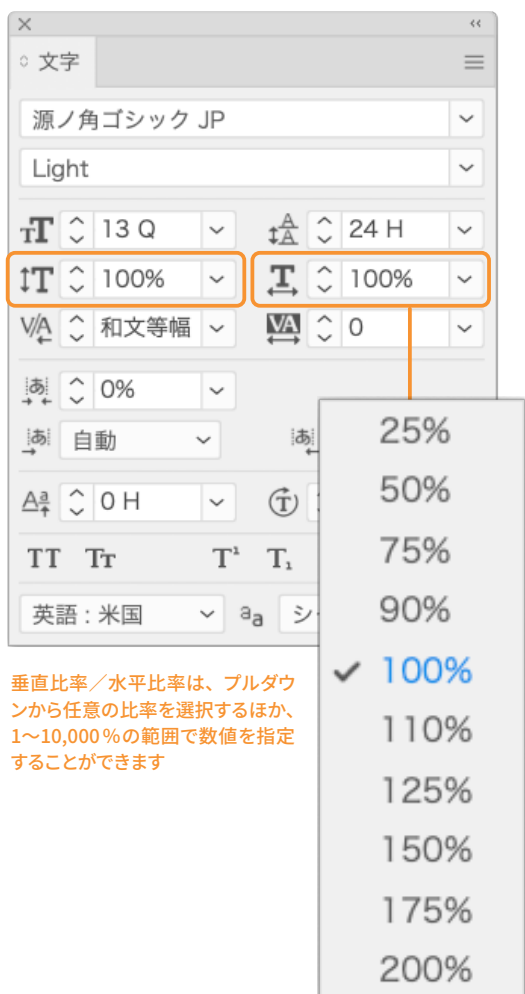
# 文字の幅・高さを変更する (平体・長体にする)

文字の幅や高さを変更するには、文字パネルの「垂直比率／水平比率」で値を指定します。100%のとき、文字に変形はかかりません。垂直比率／水平比率に同じ数値を指定した場合、文字は変形せず、文字のサイズが指定の倍率で変更されます。

垂直比率を100%以下に設定すると文字は上下につぶれて横長となり、100%以上に設定すると文字は上下に伸びて縦長になります。同様に、水平比率を100%以下に設定す

ると文字は左右につぶれて縦長となり、100%以上に設定すると文字は左右に伸びて横長になります。垂直比率を100%以下に設定した文字は「長体」、水平比率を100%以下に設定した文字は「平体」と呼ばれます。

こうした文字の変形は、限られたスペースに対して、収容できる文字数を増やすために行なわれることが一般的ですが、文字がもつ表情に変化を与えるためのデザイン処理として行なわれることもあります。



垂直比率／水平比率は、プルダウンから任意の比率を選択するほか、1～10,000%の範囲で数値を指定することができます

## デザインとTypography

40Q 垂直比率:100% 水平比率:100%

## デザインとTypography

40Q 垂直比率:50%/水平比率:100%

## デザインとTypography

40Q 垂直比率:100%/水平比率:50%

## デザインとTypography

40Q 垂直比率:50%/水平比率:50%

垂直比率50%、水平比率50%の文字は、サイズが半分の文字と同じ見た目になります(右2例)

## デザインとTypography

20Q 垂直比率:100%/水平比率:100%

## タイポグラフィ(Typography)

40Q 垂直比率:100%/水平比率:100%

28Q 垂直比率:100%/水平比率:100%

## タイポグラフィ(Typography)

40Q 垂直比率:100%/水平比率:100%

40Q 垂直比率:70%/水平比率:70%



## タイポグラフィ(Typography)

テキスト全体を20Qに変更

異なるサイズが混在するテキストの場合、個別に文字サイズを指定するのではなく(上)、垂直比率／水平比率でサイズを変更することで(下)、文字パネル上の文字サイズは同一のまま、大小関係をつくることができます。これは、文字同士の大きさのバランス(相対関係)を保ったまま、あとから文字全体のサイズを調整したいときに有効な方法です

## 文字組みの基本／文字パネル④

# 「カーニング」と「トラッキング」で 字間を調整する

Illustrator上で字間を調整する基本的な機能には、「カーニング」と「トラッキング」があります。

カーニングは、文字間を個別に調整するもので、タイトルやキャッチコピーのように可読性だけでなく、文字のまわりや全体としての造形性を求める文字組みには欠かせない機能です。カーニングを設定するには、調整が必要な文字間にカーソルを置いた状態で文字パネルの「カーニング」に値を入力します。

トラッキングは、複数の文字間を一括して調整する機能で、一般的に段落全体など広い範囲に一定の値を設定することで、全体の字間をツメて組む（均等ツメ組み）、またはア

ケて組む（均等アケ組み）にする際に使用します。トラッキングを設定するには、調整するテキストを範囲選択した状態で文字パネルの「トラッキング」に値を入力します。いずれも1/1000emを単位とし、入力値が1,000のとき、1em＝全角字幅に相当する字間が挿入されます。入力値は、-1,000～10,000の範囲で指定することができ、カーニング値／トラッキング値が最小値の-1,000のとき、前後の文字は同じ位置に重なることになります。

カーニング／トラッキング処理は、ショートカットによる操作を行なうことで、視覚的な字間調整を、より直感的に行なうことができます。



## ショートカット | カーニング

横組みの場合

**option (Alt) + ◀▶**

縦組みの場合

**option (Alt) + ▲▼**

文字間にカーソルを入れた状態で実行

## ショートカット | トラッキング

横組みの場合

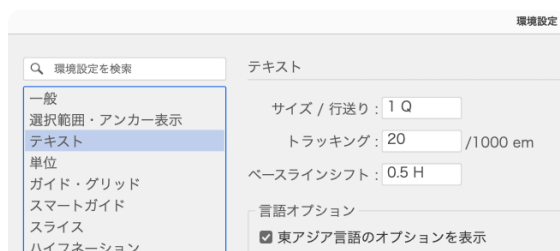
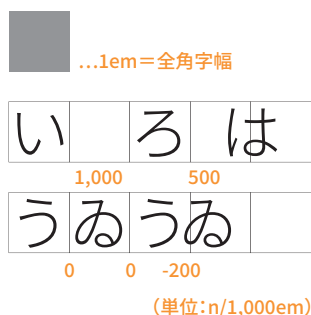
**option (Alt) + ◀▶**

縦組みの場合

**option (Alt) + ▲▼**

文字を複数選択した状態で実行

プルダウンから選ぶ、または数値を入力してカーニング値を指定します。「メトリクス／オブティカル／和文等幅」の設定は、テキスト全体に対して個別の字間調整を行なうための設定です（次ページ参照）



ショートカット1回あたりの調整量は「環境設定／テキスト」にある「トラッキング」の値で決まります。ショートカットにCommand (Ctrl) キーを組み合わせると、調整量は5倍になります

## 文字組みの基本 / 文字パネル⑤

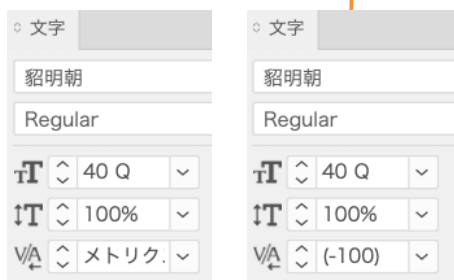
# 自動カーニングで 複数の字間を一括調整する

カーニングには、一对の文字間を数値指定で調整する方法（手動カーニング・08ページ参照）と複数の文字間を自動で調整する方法（自動カーニング）があります。自動カーニングの設定には「メトリクス／オプティカル／和文等幅」の3種類あり、デフォルト値は「和文等幅」です。

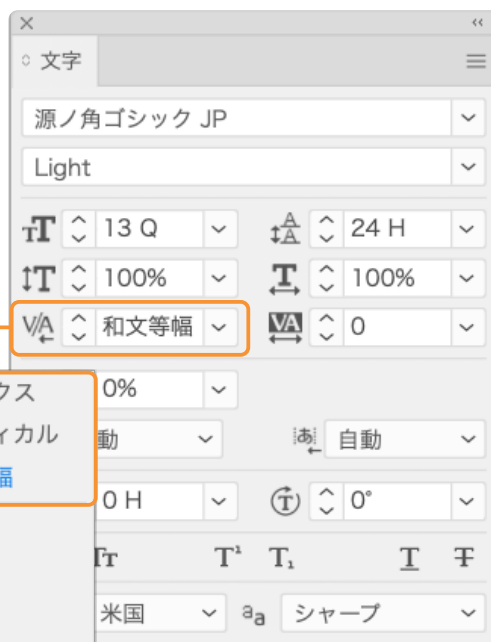
基本的な字間調整は、まずテキスト全体に対して「メトリクス／オプティカル／和文等幅」いずれかの設定を割り当て、さらに個別の調整が必要なら、その字間にカーソルを置いて調整するという手順になります。

次ページ以降（10～12ページ）では、この3種類の選択肢に「カーニング：0」を加えた、4つの設定について見ていきましょう。

## タイポグラフィ



「メトリクス」カーニングを適用した場合。テキストを複数選択しているとき、カーニングは「メトリクス」と表示され、文字間にカーソルを置いたときは設定に基づいて指定されたカーニング値が( )つきで表示されます



「カーニング」のプルダウン上部にある「メトリクス／オプティカル／和文等幅」が自動カーニングの設定です。一律の字間調整を行なうトラッキングに対し、自動カーニングは文字間ごとに個別の字間調整が行なわれます

### カーニング:0

10ページ参照

しています。

WHAT To 7/4

### 和文等幅

10ページ参照

しています。

WHAT To 7/4

### メトリクス

11ページ参照

しています。

WHAT To 7/4

### オプティカル

12ページ参照

しています。

WHAT To 7/4

「メトリクス／オプティカル／和文等幅」の3種類のカーニングは、適用される文字種や参照する情報に違いがあります(数字はカーニング値)

## 文字組みの基本／文字パネル⑥

自動カーニング「和文等幅」と  
ペアカーニング

「和文等幅」は、その言葉から連想する通り、「和文＝日本語は等幅として扱う」という自動カーニング設定です。漢字やかな、約物等の各文字が文字サイズを基本として同じ字幅で送られる、日本語組版における標準的な組みかた「ベタ組み」(30ページ参照)のための設定です。

日本語部分だけに注目すると、「和文等幅」の組版結果は、テキスト全体を「カーニング:0」に設定した組版結果と同一のものになります。この2つの設定の差は、欧文部分の「ペアカーニング」と呼ばれる情報の扱いに現れます。

英数字等の欧文の文字は一般的に、そのキャラクターによってさまざまな字幅をもち、組版においてはその文字固有の字幅で送られることで、自然な文字の並びになります。しかし、字幅のみを基準にした組版では字間が広く見える

ケース(下図Ty・WAW)や狭く見えるケース(下図WT)があります。こうした場合でも美しい文字の並びを実現するために、現在のフォントには、隣り合う文字の組み合わせ(ペア)ごとに個別のカーニングが設定されています。これを「ペアカーニング」と言います。

「和文等幅」は、日本語以外の文字に対して、このペアカーニングを有効にします。「カーニング:0」では、ペアカーニングを含めた一切のカーニングは適用されません。「和文等幅」と「カーニング:0」を比較した場合、日本語部分に差異はなく、英数字等の欧文を含む場合に違いが現れることとなります。

なお、フォントによっては、ペアカーニング情報をもたないものもあり、こうしたフォントを指定している場合、「和文等幅」と「カーニング:0」は、同一の組版結果になります。

日本語を均等に組む

「和文等幅」の設定

「和文等幅」では、和文＝日本語は均等に並べられます。  
個別の字間調整は行なわれません

Ty WAWWT

字幅のみを基準にした場合(設定は「カーニング:0」)。  
それぞれの文字間のアキが目立ちます

Ty WAWWT

-125

-119

-105

24

ペアカーニングを有効にした場合(設定は「和文等幅」/メトリクス)。「Ty」「WA」「WT」に設定されたペアカーニング情報により、字間が調整されています

カーニング:0

しています。

0 0 0 0 0

WHAT To 7/4

0 0 0 0 0

和文等幅

しています。

0 0 0 0 0

WHAT To 7/4

-28

-10

-108

-153

-89

-100

「カーニング:0」では、すべての字間に調整が入らないのに対して、「和文等幅」ではフォントがもつペアカーニング情報にしたがって日本語以外の字間にカーニング処理が行われます

## 文字組みの基本／文字パネル⑦

## 自動カーニング「メトリクス」と「プロポーショナルメトリクス」

「メトリクス」は、テキストを文字固有の字幅で並べる自動カーニング設定です。日本語組版では「ツメ組み」(30ページ参照)のための設定であり、欧文組版ではデフォルトの設定となっています。フォントがもつ情報を参照するため、フォントによっては「和文等幅」「カーニング:0」と同じ組版結果になることがあります。

「メトリクス」の挙動を知るうえで覚えておきたい機能が「プロポーショナルメトリクス」です。これは和文書体がもつ全角の仮想ボディ内に配置された文字を、欧文アルファベットのようにそれぞれ固有の字幅で扱うもので、テキストを選択した状態で OpenType パネルにある「プロポーショナルメトリクス」にチェックを入れることで、有効にすることができます。

「メトリクス」をより細かく分解すると、①文字を「プロポ

ーションナルメトリクス」を適用したときと同じように文字固有の字幅で並べ、②ペアカーニング(10ページ参照)を有効にする自動カーニング設定、ということができます。

「プロポーショナルメトリクス」を適用しただけでは、ペアカーニングは有効にならない点は注意が必要です。

「メトリクス」を適用したテキストの間にカーソルを挿入し、手動でカーニングを追加することも可能ですが、変更を加えるとカーソル直前の文字に適用されていた①文字固有の字幅で並べる機能が解除されます(下図参照)。こうしたケースでは、OpenType パネルにある「プロポーショナルメトリクス」を有効にしておくことで、①文字固有の字幅による文字組みを維持することができます。自動カーニング「メトリクス」と OpenType パネル「プロポーショナルメトリクス」はセットで適用すると考えるとよいでしょう。



全角の仮想ボディに対して、文字固有の字幅を青で表示したもの。「和文等幅」「カーニング:0」が仮想ボディ(オレンジの正方形)を基準に並べるのに対し、「メトリクス」は、文字固有の字幅(青の長方形)を基準に文字を並べます

## 和文等幅

タイポグラフィを勉強しています。

プロポーショナルメトリクス: オフ

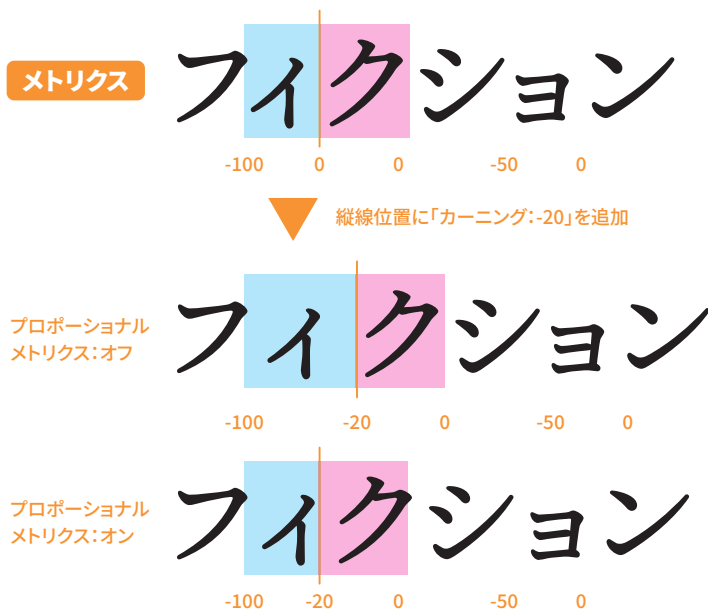
## メトリクス

タイポグラフィを勉強しています。

## 和文等幅

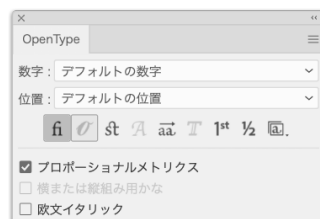
タイポグラフィを勉強しています。

プロポーショナルメトリクス: オン



自動カーニング「和文等幅」と「メトリクス」の比較。「メトリクス」のサンプルにある点線は、ペアカーニングが適用されている部分を示しています。

「プロポーショナルメトリクス」は文字パネルの自動カーニングとは別の、独立した機能のため、ベタ組みのための設定「和文等幅」を適用していても、「プロポーショナルメトリクス」を有効にすると、結果的にはツメ組みになる点は注意が必要です。ベタ組みの際には、必ず「プロポーショナルメトリクス」を無効にする必要があります



## 文字組みの基本／文字パネル⑧

自動カーニング  
「オプティカル」

「オプティカル」は、アドビ独自のプログラムによって、ある一定のアルゴリズムで隣り合った文字同士の間隔を調整する機能です。基本的に欧文向けに設計された機能のため、縦組みのテキストに対しては機能せず、日本語に適用する場合はその組み上がりを確認する必要があります。また「隣り合った文字同士の間隔を調整する」という性質上、行頭・行末に対しては調整が行われません。「メトリクス」や「プロポーショナルメトリクス」がフォント内部の情報をもとに字間を調整するのに対し、「オプティカル」は文字のサイズとかたちをもとに調整を行います。そのため、文字固有の字幅情報やペアカーニング設定をもたないフォントを指定したテキストに対しても、自動カーニングを適用することができます。

## 和文等幅

タイポグラフィを勉強しています。

## メトリクス

タイポグラフィを勉強しています。

## オプティカル

タイポグラフィを勉強しています。

文字固有の字幅、ペアカーニング情報をもつフォントの場合(貂明朝テキスト)

## 和文等幅

タイポグラフィを勉強しています。

## メトリクス

タイポグラフィを勉強しています。

## オプティカル

タイポグラフィを勉強しています。

文字固有の字幅、ペアカーニング情報をもたないフォントの場合(清和堂明朝)

フォント  
-210 -236 -199 (100Q)

フォント  
-193 -217 -182 (60Q)

フォント  
-179 -202 -168 (28Q)

フォント内部の情報をもとに数値的なカーニング処理を行なうメトリクスカーニングに対し、オプティカルカーニングは、その名の通り、視覚的な字間調整を行ないます。文字サイズが大きいほどツメ量は多くなり、小さいサイズでは少なくなるという特徴をもっています

フォント

オプティカルカーニングを適用した100Qの文字(青)と20Q(赤)を同じサイズで重ね合わせたもの

中にはまだ昼なのに電燈がついてたくさんの輪転器がぼたりぼたりとまわり、きれで頭をしばったりランプシェードをかけたたりした人たちが、何か歌うように読んだり数えたりしながらたくさん働いて居りました。

中にはまだ昼なのに電燈がついてたくさんの輪転器がぼたりぼたりとまわり、きれで頭をしばったりランプシェードをかけたたりした人たちが、何か歌うように読んだり数えたりしながらたくさん働いて居りました。

文字サイズによってカーニング量を調整するオプティカルカーニングの特性上、オプティカルカーニングを適用したテキストを拡大・縮小する場合、改行位置や行数が変わることがあります。特に縮小する場合は、字間が広がることで、文字がオーバーフローすることもあるため、細心の注意が必要です

## 文字組みの基本／文字パネル⑨

# 文字の左右にある 余白をつめる「文字ツメ」

「文字ツメ」は、全角の仮想ボディと実際の字面とのアキを狭めることで、文字をつめる機能です。横組みの場合は字面の左右、縦組みの場合は字面の上下のアキ全体を100%として、つめる比率を%で設定します。デフォルト値は0%、0~100%の範囲で指定でき、マイナス値を入力して字間をあけることはできません。「文字ツメ:100%」のとき、仮想ボディとのアキはゼロになります。この機能のみを使用している場合、「文字ツメ:100%」に設定しても、隣の文字と重なることはありませんが、「オプティカル」や「メトリクス」などの自動カーニングや、「プロポーションアルメトリクス」と併用すると、前後の文字が重なることがあります。

基本的に、和文書体、欧文書体を問わず、すべてのフォント、すべての文字に対して指定することができます。

## 和文等幅

0% タイポグラフィを勉強しています。

25% タイポグラフィを勉強しています。

50% タイポグラフィを勉強しています。

75% タイポグラフィを勉強しています。

100% タイポグラフィを勉強しています。

テキスト全体に対して「文字ツメ」を適用した例

タイポグラフィを勉強しています。 タイポグラフィを勉強しています。 タイポグラフィを勉強しています。



全角の仮想ボディに対して、「文字ツメ」で圧縮されるアキを青で図示したもの（上段は横組み／下段は縦組み）。仮想ボディに対する文字のアキは、必ずしも上下または左右で均等ではないため、文字の前後で同量のツメ処理が行なわれるわけではありません

## 和文等幅

Illustratorで  
文字をきれいに組むには  
文字ツメ:100%



Illustratorで  
文字をきれいに組むには  
文字ツメ:100%+トラッキング:50

Illustratorで  
文字をきれいに組むには  
文字ツメ:100%+トラッキング:150

Illustratorで  
文字をきれいに組むには  
カーニング:メトリクス (参考)

「文字ツメ」を使って文字のアキをつめたあと、トラッキングによって全体をあけることで字間を均等に整えることができます。これはタイトルなどを組む際に有効な方法です

0%  
10%  
20%  
30%  
40%  
50%  
60%  
70%  
80%  
90%  
100%



「文字ツメ」と他機能の併用により文字が重なった例(文字ツメ:100%)  
左…カーニング:メトリクス  
中…カーニング:オプティカル  
右…カーニング:和文等幅/プロポーションアルメトリクス:オン

## 文字組みの基本／文字パネル⑩

# 文字前後のアキ量を調整する「アキを挿入」

「アキを挿入」は、選択範囲の各文字の前／後に、プルダウンから選んだアキを挿入する機能です。より正確には「文字組みアキ量設定の設定値を一時的に変更する機能」と考えることができます。

前／後のアキは個別に指定することができ、文字の前は「アキを挿入（左/上）」、文字の後は「アキを挿入（右/下）」でそれぞれアキ量を指定します。

デフォルト値「自動」のとき、文字前後のアキは段落パネルの「文字組み」で指定した文字組みアキ量設定（25・31ページ参照）によって決定します。「自動」以外を選んだ場合、選択したアキ量によって、文字組みアキ量設定で指定されたアキ量が上書きされます。

- ・アキなし=ベタ（0%）
- ・八分=全角の1/8（12.5%）
- ・四分=全角の1/4（25%）
- ・二分=全角の1/2（50%）
- ・二分四分=全角の3/4（75%）
- ・全角（100%）

その結果、文字組みアキ量設定の最適値よりも「アキを挿入」の指定値が大きい場合は字間はあき、小さい場合は字間がつまることとなります。

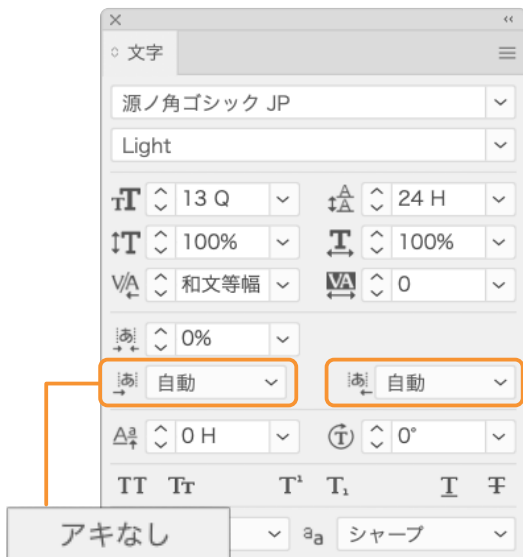
指定されたアキの最適値を「なし」=ベタとして扱う「アキなし」は、句読点の後ろや括弧類の前後のアキをピンポイントで変更する際に有効な機能です。

段落パネルの「文字組み」が「なし」=文字組みアキ量設定を割り当てていない場合、文字は常に仮想ボディのサイズで扱われます。

## □文字のかたちを活かす□

タイポグラフィーとレイアウトの実践。

「アキを挿入」で追加されたアキは、行頭や行末で吸収されずに残る点は注意が必要です



「ろ」の前後に「アキを挿入」した例

自動(0%)	いろは
八分(12.5%)	いろは
四分(25%)	いろは
二分(50%)	いろは
二分四分(75%)	いろは
全角(100%)	いろは

「ろ」の前後に「アキを挿入」した例

アキを挿入（後）：四分

トラッキング：250

文字とデザイン

文字とデザイン

テキスト全体に適用すると、トラッキングであけた状態と同じ結果になります

アキなし(0%)	い(は	アキなし(0%)	い(は
自動(50%)	い(は	自動(0%)	い(は
八分(12.5%)	い(は	八分(12.5%)	い(は
四分(25%)	い(は	四分(25%)	い(は
二分(50%)	い(は	二分(50%)	い(は
二分四分(75%)	い(は	二分四分(75%)	い(は
全角(100%)	い(は	全角(100%)	い(は

「(」の前に「アキを挿入」した例  
(起こし括弧前のアキ:50%の場合)

「(」の前に「アキを挿入」した例  
(文字組み:なしの場合)

## 文字組みの基本 / 文字パネル⑩

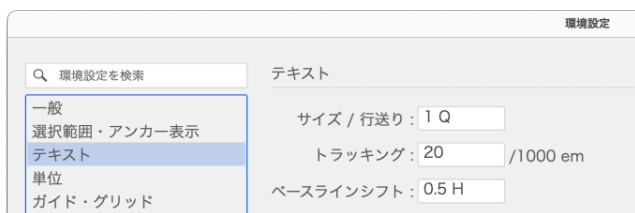
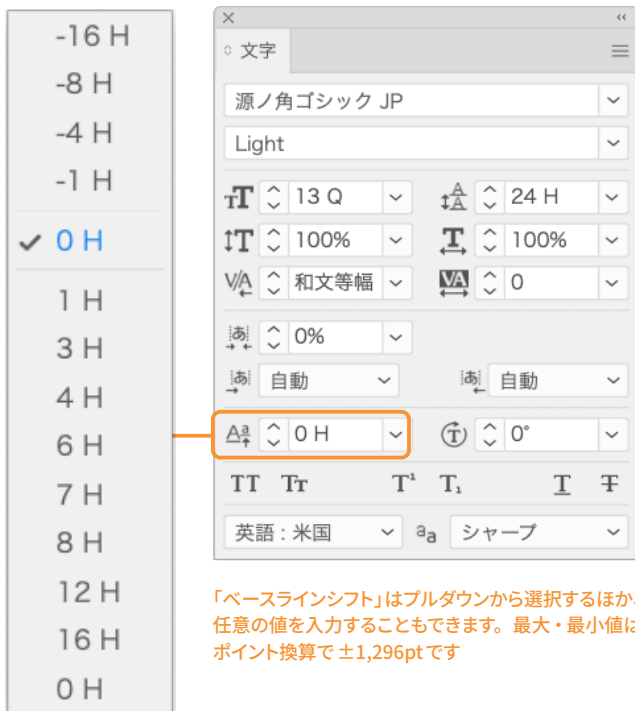
# 「ベースラインシフト」で 文字の位置を微調整する

「ベースラインシフト」は、横組み中の文字の上下位置、縦組み中の文字の左右位置を調整する機能です。単位は「環境設定 / 単位」の「東アジア言語のオプション」で指定したものが使用され、入力した数値分、文字が移動します。プラス値、マイナス値いずれも入力することができ、入力する値によって、組み方向に対する移動方向を変えることができます。

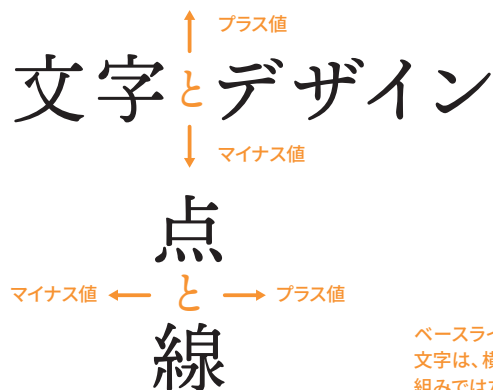
- ・横組み…プラス値：上 / マイナス値：下
- ・縦組み…プラス値：右 / マイナス値：左

「ベースラインシフト」はおもに、値組みや住所、電話番

号等に含まれる「,」「-」のような約物の位置を調整する、同一行中に異なるサイズの文字を組む際に発生する視覚的な文字のずれを調整する、デザイン処理として文字を上下 / 左右に動かす、などのテキスト処理に使用します。入力欄に数値を入れるほか、文字を選択した状態でショートカット option (Alt) + Shift + 矢印キーを押すことでも適用できます。矢印キーの方向は移動方向と一致しており、横組みでは▲▼を、縦組みでは◀▶キーを使います。「カーニング」「トラッキング」同様、ショートカットを使うことで、文字の位置を直感的に移動できるようになります。



ショートカット 1回あたりの移動量は「環境設定 / テキスト」にある「ベースラインシフト」で指定することができます。デフォルト値は1Hで、ショートカットに Command (Ctrl) キーを追加することで、設定値の5倍の移動量になります



ベースラインシフトを適用した文字は、横組みでは上下に、縦組みでは左右に動きます

10,000円

10,000円

値組みの例。  
数字間をカーニングで調整し、カンマ「,」の位置をベースラインシフトで上に移動しています

## ショートカット | ベースラインシフト

横組みの場合

option (Alt) + shift + ▲▼

縦組みの場合

option (Alt) + shift + ◀▶

テキストを選択した状態で実行

## 文字組みの基本／文字パネル⑫

# 「文字の回転」を使って 文字の向きを変更する

「文字の回転」は指定した角度で字を回転させる機能です。デフォルト値は0°で、プラス値／マイナス値いずれでも指定することができます。プラス値のとき、文字は反時計回り（左回り）に回転し、マイナス値のとき、文字は時計回り（右回り）に回転します。

複数の文字を選択した状態で「文字の回転」をした場合でも、回転が適用されるのは1文字単位になります。

おもに縦組み中の英数字に対して適用して、文字を起こす（正立させる）処理などに使用しますが、同様の処理が頻出する場合には「縦組み中の欧文回転」（18ページ参照）を使用するほうが効率的に作業が行なえます。

縦組み中にある2桁の数字などを横並びにしたい場合は、「文字の回転」ではなく「縦中横」（18ページ参照）で処理を行なう必要があります。

回転は、横組みの場合は天地中央、縦組みの場合は左右中央を基準に行なわれるため、回転の前後で文字の位置が変わることはありません。

また、「文字の回転」を適用した文字は、基本的に「メトリクス」「オプティカル」などの自動カーニングや「プロポーションメトリクス」、文字組みアキ量設定の影響を受けなくなります。デザイン上、文字に回転を加える場合には、手で字間を再調整する必要があります。



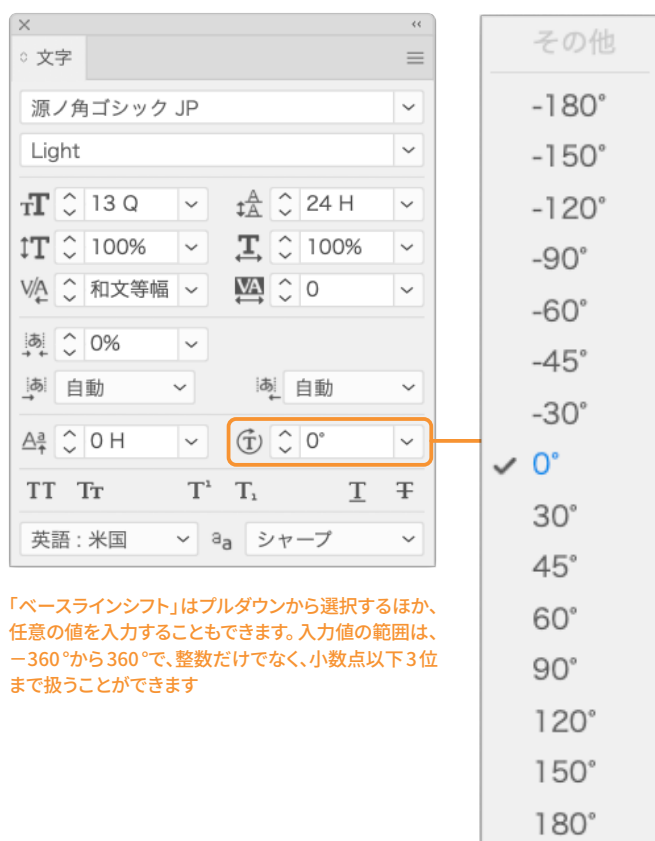
文字の回転:90°



文字の回転:0°



文字の回転:-90°



「ベースラインシフト」はプルダウンから選択するほか、任意の値を入力することもできます。入力値の範囲は、-360°から360°で、整数だけでなく、小数点以下3位まで扱うことができます



「AI」「3」「15」の文字に「文字の回転:90°」を適用した状態。「15」は個別に正立するため、別途「縦中横」を適用するのが一般的です（18ページ参照）

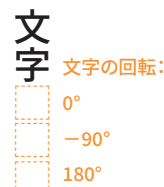


オプティカルカーニングを適用した文字に「文字の回転:-20°」を適用し、回転によってリセットされた字間を「カーニング:-400」で再度調整したもの

## 文字の回転 □ □ □ 回転

文字の回転: 0° -90° 180°

異なる角度で「文字の回転」を適用した□を並べたもの。回転を適用しても、文字の位置がずれることはありません



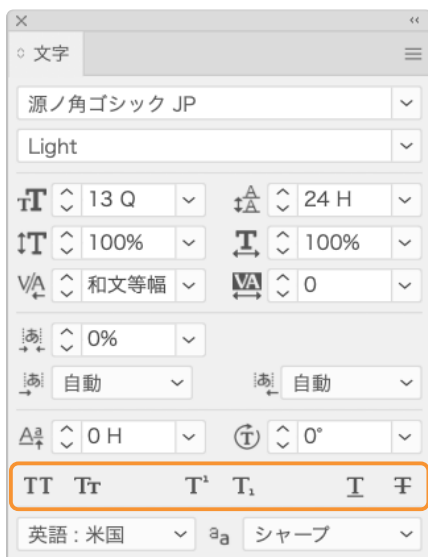
## 文字組みの基本／文字パネル⑬

# 文字を上付き・下付きにする 文字に下線・取り消し線を引く

文字パネルには、選択した文字の見た目を、用途に応じて変更できる6つのボタンが用意されています。上から2つは欧文に対してのみ有効な機能で、以降の4つはすべての文字に対して適用することができます。

- 文字をオールキャップスにする（大文字にする）
- 文字をスモールキャップスにする（2文字目以降をxハイト相当の高さをもつ大文字にする）
- 文字を上付きにする
- 文字を下付きにする
- 文字に下線を引く
- 文字に取り消し線を引く

下線・取り消し線を除く4項目は、文字パネルのフライアウトメニューからも適用することができます。



Design	TT	DESIGN
Design	Tr	DESIGN
グリフ*1	T^	グリフ*1
CO <sub>2</sub> H <sub>2</sub> O	T_	CO <sub>2</sub> H <sub>2</sub> O
下線付き	I	下線付き
取り消し線	F	取り消し線

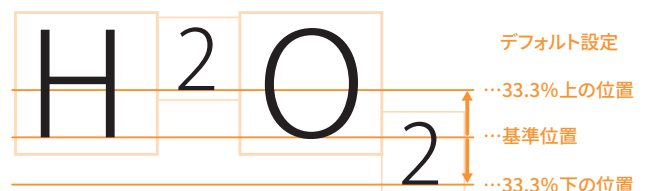
各ボタンの適用結果。下線・取り消し線は他設定と重複適用が可能

上付き・下付き文字のサイズや位置は、「ファイル」メニューにある「ドキュメント設定／文字オプション」で設定された値が基準となります。

上付き・下付きは、OpenType パネルから適用することもでき、この場合、指定した文字を変形するのではなく、フォント内に含まれる専用の文字（グリフ）が使用されます。ただし、指定しているフォントが上付き文字・下付き文字をもつ OpenType フォントの場合に限られます。



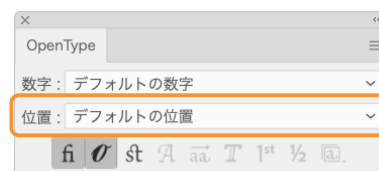
「ドキュメント設定／文字オプション」では上付き・下付き文字のサイズと位置を調整できます。「位置」は基本的に文字の欧文ベースラインを基準に、文字サイズに対する割合で指定します。「位置」が0%のときに限り、基準位置は「文字揃え」の設定値になります



H<sup>2</sup>O<sub>2</sub>

上付き文字  
サイズ:50% 位置:50%

下付き文字  
サイズ:50% 位置:1%



デフォルトの位置  
上付き文字  
下付き文字  
分子  
分母

OpenType パネル

永Ag1 永永永

螢の光 螢の光

下線は文字種、フォント、サイズによらず同位置に設定されます。取り消し線はフォント、サイズによって位置が異なります

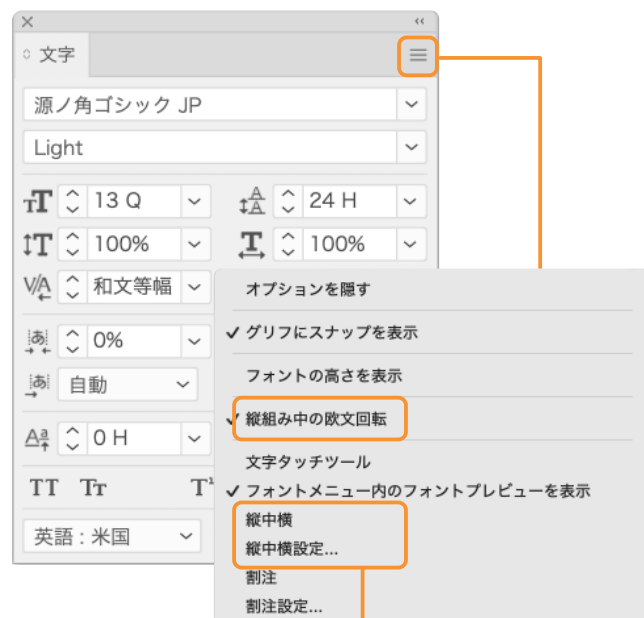
## 文字組みの基本／文字パネル⑭

# 「縦組み中の欧文回転」と「縦中横」で 縦組みの英数字を調整する

縦組み中のテキストに含まれる欧文用の半角欧文・数字は、正立せず横倒しの状態で表示されます。「縦組み中の欧文回転」と「縦中横」は、こうした文字を正立させる機能です。いずれも、読みやすい縦組みの文章を組む際には欠かすことができない機能です。

「縦組み中の欧文回転」は、1文字ずつ正立させるもので、選択したテキスト内に含まれる英数字に対して機能します。対象となる文字を個別に選択する必要はなく、テキスト全体に対して適用できる点で、「文字の回転」による正立より効率的な作業が可能です。「縦組み中の欧文回転」と「文字の回転」は、ともに1文字ずつ正立させることができますが、「縦組み中の欧文回転」で処理した英数字の前後には、文字組みアキ量設定で指定した和欧文間隔が挿入されないという違いがあります。

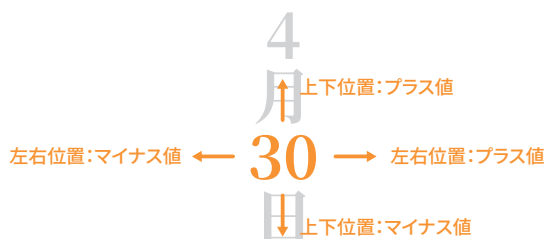
「縦中横」は、選択範囲の文字を正立させただけで、横組みで配置する機能で、おもに2～3桁の数字を横並びに表示する際に使用します。英数字に対して適用した場合、「縦組み中の欧文回転」同様、文字組みアキ量設定で指定した和欧文間隔が挿入されません。



「縦中横設定」ダイアログでは、縦中横を適用した文字の位置を個別に調整することができます



「縦組み中の欧文回転」と「縦中横」を組み合わせた組版処理の手順例。  
対象となるテキストを選択して「縦組み中の欧文回転」を適用したのち、必要な箇所を個別に「縦中横」で処理します。  
「文字の回転」と「縦中横」の組み合わせの場合、文字組みアキ量設定の設定次第では、和欧文間隔が挿入されない「縦中横」と混在した際に、アキが不均等になり、個別調整が必要になります(図の和欧文間隔は25%)



## 文字組みの基本／文字パネル⑮

# そのほかの 文字パネル関連機能

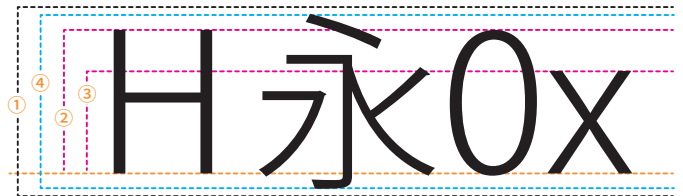
文字パネルには、これまでに紹介したもの以外にも、日本語組版に関連した機能、設定があります。

**①フォントの高さを表示**…文字パネルのフライアウトメニューにある「フォントの高さを表示」にチェックを入れると、文字パネル内に「フォントの高さの基準を設定」という項目が加わり、選択肢に応じたフォントサイズが表示されるようになります。デフォルトは「仮想ボディ」で、この項目を表示している場合に限り、「キャップハイト」「xハイト」「平均字面」の選択肢を含む、計4つの選択肢から基準を選ぶことができます。「フォントの高さを表示」のチェックを外し、項目を非表示にすると、フォントサイズは「仮想ボディ」の高さを基準にしたサイズ表示に戻ります。「仮想ボディ」以外は、基本的には各フォントに依存します。実務では、たとえば「欧文の大文字を和文の天地に揃えたい」というような場合に参照するといいでしょう。

**②割注**…本文文字列の中で補足・注釈的な部分を括弧括りの2行で挿入する組版処理を「割注」といいます。

フライアウトメニューにある「割注」は、選択したテキストにこの処理を行なう機能で、最大5行まで脚注として組むことができます。多くの場合、前後に本文サイズの丸括弧（パーレン）等を伴って生まれ、その中のテキストに対して適用することになります。割注文字列はサイズ、行間や行揃えの設定も可能で、行の中ではセンター揃え（横組みでは天地中央、縦組みでは左右中央）になります。

**③分割禁止**…Illustratorでは、欧文単語や英数字などは行末／行頭に分かれて配置されないようになっており、この禁則を「分割禁止」といいます。実務では、たとえば招待状などの挨拶文で「人物名や会社名を途中で折り返したくない」と希望されることがあります。このようにある特定の文字列が行末／行頭に分かれて配置することを避けたい場合には、対象となる文字列を選択して、文字パネルのフライアウトメニューから「分割禁止」を適用します。「分割禁止」処理が頻出する場合には、「文字スタイル」に登録しておくことでより効率的に作業することができます。



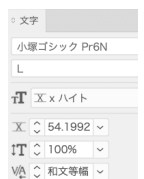
「フォントの高さを表示」の選択肢

①仮想ボディ ②キャップハイト ③xハイト ④平均字面

フォントサイズは①～④で指定した基準で表示され、

100Qで指定された「x」の場合、それぞれ以下の表示になります。

①100Q ②76Q ③54Q ④92Q（小数点以下四捨五入）



割注作例  
(行間0/2行下揃え50%)

割注作例  
(行間0/2行中央揃え50%)

割注作例  
(行間0/2行上揃え50%)

割注作例(2行・50%  
行間0/左揃え)

割注作例(2行・50%  
行間0/中央揃え)

割注作例(2行・50%  
行間0/右揃え)

割注作例(2行・60%  
行間0/左揃え)

割注例。縦組みの割注は、全体に「縦組み中の欧文回転」、2桁数字に「縦中横」を適用し、「%」の後は強制改行を挿入した状態

文字組みの機能の1つ「分割禁止」は、

文字組みの機能の1つ「分割禁止」は、

分割禁止は、行を跨ぐと読みにくくなるテキストに対しても有効な処理

## 文字組みの基本 / 段落パネル①

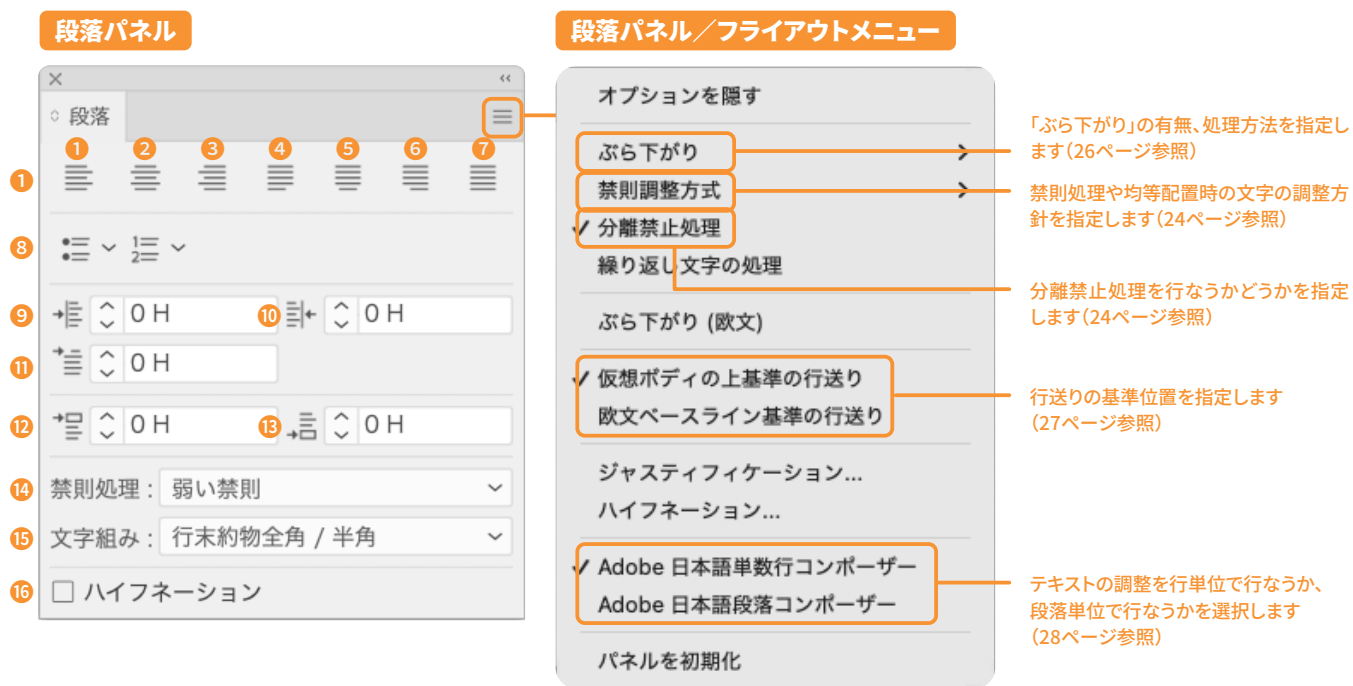
# 段落パネルで できること

段落パネルは、Illustrator でおもに複数行のテキストに対して、さまざまな設定を行なうためのパネルです。

Illustrator のテキストオブジェクトには、文字ツールでクリックしてつくる「ポイント文字」と、文字ツールでドラッグする、または長方形等の図形に対してエリア内文字ツールを使用してつくる「エリア内文字」の2種類があり、

一部の機能はエリア内文字でのみ適用が可能です。

日本語組版の品質を考えるうえで特に重要な設定が、**14**「禁則処理」と**15**「文字組み」です。文字個別の属性を決める文字パネルに対して、段落パネルでは各設定が連動しながらテキスト全体の組み上がりを決めることになります。各項目の設定については、次ページ以降で解説しています。



- 1 テキストを左揃え(横組み) / 上揃え(縦組み)にします。ポイント文字の場合、アンカーポイントがテキストの始点になります (21ページ参照)
- 2 テキストを中央揃えにします。ポイント文字の場合、アンカーポイントがテキストの中央になります (21ページ参照)
- 3 テキストを右揃え(横組み) / 下揃え(縦組み)にします。ポイント文字の場合、アンカーポイントがテキストの終点になります (21ページ参照)
- 4 テキストを均等配置最終行左揃え(横組み) / 上揃え(縦組み)にします。エリア内文字のみ有効です (21ページ参照)
- 5 テキストを均等配置最終行中央揃えにします。エリア内文字のみ有効です (21ページ参照)
- 6 テキストを均等配置最終行右揃え(横組み) / 下揃え(縦組み)にします。エリア内文字のみ有効です (21ページ参照)

- 7 テキストを両端揃えにします。エリア内文字のみ有効です (21ページ参照)
- 8 各段落を1項目として、テキストを箇条書き、番号付きリストにします
- 9 左インデント(横組み) / 上インデント(縦組み)を設定します。おもにエリア内文字に対して使用します (22ページ参照)
- 10 右インデント(横組み) / 下インデント(縦組み)を設定します。おもにエリア内文字に対して使用します (22ページ参照)
- 11 1行目だけに左インデント(横組み) / 上インデント(縦組み)を設定します。おもにエリア内文字に対して使用します (22ページ参照)
- 12 段落の前にアキ(余白)を挿入します (23ページ参照)
- 13 段落の後にアキ(余白)を挿入します (23ページ参照)

- 14 禁則処理に使用するセットを指定します。「なし」を選んだ場合、禁則処理は行なわれません (24ページ参照)
- 15 行長調整の際に発生する文字間のアキのルールを定義する「文字組みアキ量設定」を指定します (25ページ、30ページ以降参照)
- 16 欧文組版の際にハイフネーション処理を行なう場合にチェックします

## 文字組みの基本／段落パネル②

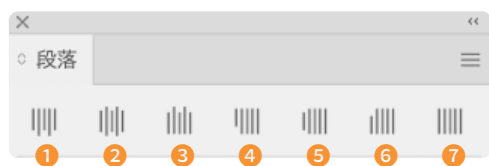
# テキストを左・中央・右揃え 上・中央・下揃えにする

段落パネルの最上段にある「行揃え」「均等配置」は、複数行にわたるテキストをどのように揃えるかを決定する機能です。アイコンの表示は組み方向に連動しており、横組みなら横組み用、縦組みなら縦組み用のアイコンに自動的に変更されます。

一般的に日本語のテキストは、横組みなら左から右へ、縦組みなら上から下へ読み進めていきます。しかし、デザインまたはレイアウト的な意図によって、文字の揃えかたを変更する場合があります。このとき、段落パネル最上段から目的のアイコンを選ぶことで、段落単位で任意の行揃えを設定することができます。設定は大きく分けて、

- ・基準位置…左／中央／右
- ・最終行以外を均等配置にする／しない

の組み合わせでできる6種の設定に、すべての行を均等配置にする「両端揃え」を加えた7種類があります。



	Adobe Illustrator で 文字を組む。	Adobe Illustrator で 文字を組む。
	Adobe Illustrator で 文字を組む。	Adobe Illustrator で 文字を組む。
	Adobe Illustrator で 文字を組む。	Adobe Illustrator で 文字を組む。
	Adobe Illustrator で 文字を組む。	Adobe Illustrator で 文字を組む。
	Adobe Illustrator で 文字を組む。	Adobe Illustrator で 文字を組む。
	Adobe Illustrator で 文字を組む。	Adobe Illustrator で 文字を組む。
	Adobe Illustrator で 文字を組む。	Adobe Illustrator で 文字を組む。

- ①左揃え(横組み)／上揃え(縦組み)
- ②中央揃え(横組み・縦組み共通)
- ③右揃え(横組み)／下揃え(縦組み)
- ④(最終行以外)均等配置 最終行左揃え(横組み)／上揃え(縦組み)
- ⑤(最終行以外)均等配置 最終行中央揃え(横組み・縦組み共通)
- ⑥(最終行以外)均等配置 最終行右揃え(横組み)／下揃え(縦組み)
- ⑦両端揃え(最終行を含め、すべての行を均等配置)

行の折り返しが発生しないポイント文字では④～⑦は機能せず、①と同じ組版結果になります。

エリア内文字にはすべての設定を適用することができます。エリア内文字に①～⑤を適用した場合、行末は成り行きとなり、揃えられず、行末にかかる分割禁止文字は追い出される場合があります。

行末を基準とする設定(⑥⑦)に対して、「行末約物全角」が割り当てられているケースなど、行揃えの方針によっては、行頭や行末の約物類に付属するアキをつめる必要が出てきます。この場合、「文字前／後のアキ」を「アキなし」とするなどで対応が可能です(14ページ参照)

ポイント文字では機能しない設定





## 文字組みの基本 / 段落パネル⑤

# 「禁則処理」で行頭・行末に置かない文字等を決める

「禁則処理」とは、行頭や行末に位置してはいけない文字を禁則文字とすることで、読みやすさを補うとともに、誤読を避ける組版処理のことです。

Illustrator には、「強い禁則」「弱い禁則」「弱い禁則 v2」という3種類の禁則文字セットが用意されており、デフォルト設定は「強い禁則」です。「弱い禁則 v2」は「弱い禁則」をアップデートしたもので、従来、「弱い禁則」を使っていたケースでは「弱い禁則 v2」の使用を推奨します。

3種類の設定の違いを実際のテキストで見ると（下図）、  
「弱い禁則」と比べて「強い禁則」は、前の文字と結びつきが強い小書きのひらがな・カタカナや音引きが「行頭禁則文字」に追加され、先行する数字と別れさせたくない単位記号類も「行頭禁則文字」に、後続する数字と別れさせ

たくない単位記号類は「行末禁則文字」に追加されているのがわかります。

禁則処理の強弱の選択は、「強い禁則」で言葉としての読みやすさを重視するか、「弱い禁則」で整った組み体裁を求めるか、その方針によって決定することになります。「強い禁則」は禁則文字が多いために調整箇所が増え、全体の字間が不均等になりやすく、「弱い禁則」は調整箇所が少ないため、字間を均等に維持しやすくなります。こうした違いから、特にベタ組みの書籍、文芸書などでは「弱い禁則」が好まれる傾向があります。

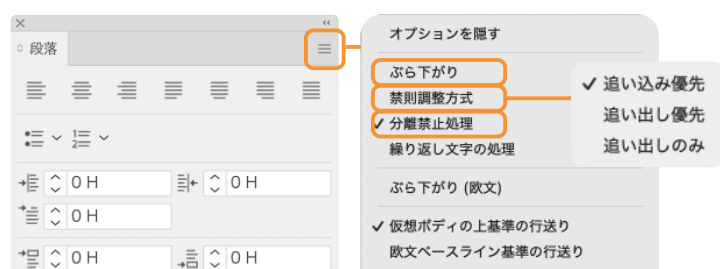
デフォルトとして用意されているセットに、必要な文字や記号を追加したり、不要なものを削除するなどして、カスタマイズすることもできます。



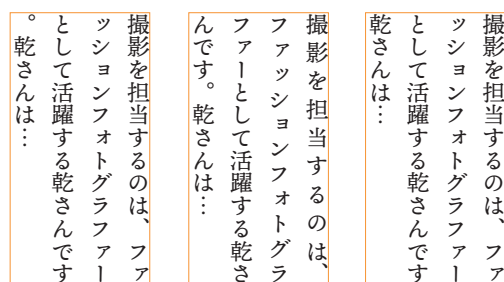
強い禁則

弱い禁則

弱い禁則 v2



「ぶら下がり文字」は段落パネルフライアウトメニューの「ぶら下がり」（26ページ参照）と、「分離禁止文字」は「分離禁止処理」と連動しています。「禁則調整方式」は禁則処理をする際の方針を決めるもので、「追い込み優先」ならつめて行内におさめることを優先し、「追い出し優先」なら次行に送ることを優先します



(禁則なし)

強い禁則

弱い禁則 v2

禁則処理の例（ぶら下がり：標準）

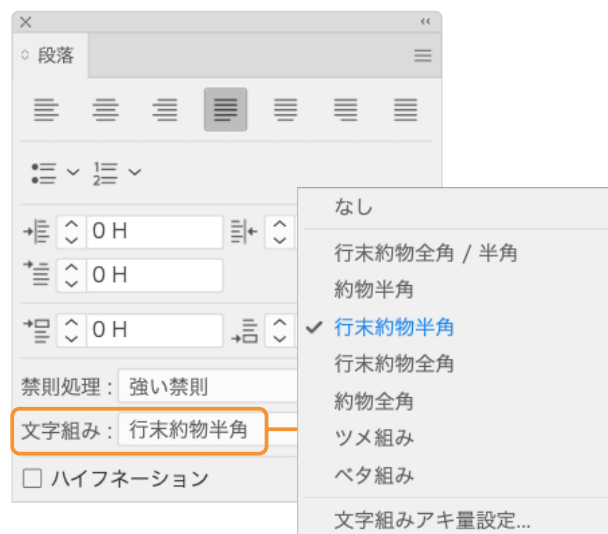
## 文字組みの基本 / 段落パネル⑥

# 「文字組み」を使って 約物・英数字の組みかたを決める

段落パネルにある「文字組み」は、段落に対して「文字組みアキ量設定」で設定されたアキ量（文字間の余白量）をコントロールする機能です。デフォルトでは7種類の設定が搭載されており、想定した使用場面ごとにそれぞれ少しずつ設定が異なります。

「文字組みアキ量設定」とは、基本的に約物類を中心に、行末・行頭に位置した場合や、行中で前・後に非約物（漢字・かななど）が位置した場合などについて、アキ量の最小値／最適値／最大値を指定したものです。

文字列は、基本的にはここで設定した最適値に基づいて並べられますが、さまざまな要因・理由により、指定行長との間に過不足が発生します。この場合に、文字をつめる方向では最小値を参照し、あける（のぼす）方向では最大値を参照して調整をすることで、文字同士の間隔を一定のルールに基づいて処理することができるようになります。



段落パネルにある「文字組み」の項目。  
デフォルトでは7種類あり、自由にカスタマイズすることができます

文字組みアキ量設定

名前: 行末約物半角 単位: %

行末設定

		最小	最適	最大	優先順位
)  →...	終わり括弧類 → 行末	0%	0%	0%	0
\  →...	読点類 → 行末	0%	0%	0%	0
o  →...	句点類 → 行末	0%	0%	0%	0
· →...	中点類 → 行末	0%	0%	0%	0

行頭設定

		最小	最適	最大	優先順位
¶ → (	段落先頭 → 始め括弧類	0%	0%	0%	0
¶ →あ	段落先頭 → 非約物	0%	0%	0%	0
...→ (	行頭 → 始め括弧類	0%	0%	0%	0

行中設定

		最小	最適	最大	優先順位
あ→ (	非約物 → 始め括弧類	0%	50%	50%	3
)  →あ	終わり括弧類 → 非約物	0%	50%	50%	3
)  → (	終わり括弧類 → 始め括弧類	0%	50%	50%	3
\  → (	読点類 → 始め括弧類	0%	50%	50%	2
\  →あ	読点類 → 非約物	0%	50%	50%	2
o  → (	句点類 → 始め括弧類	0%	50%	50%	3
o  →あ	句点類 → 非約物	0%	50%	50%	0
あ · あ	中点類の前後	0%	25%	25%	1

欧文の前後

		最小	最適	最大	優先順位
あ A あ	半角英字前後の非約物	12.5%	25%	50%	4
あ 9 あ	半角英数字前後の非約物	12.5%	25%	50%	4

新規... 保存 削除 読み込み... 書き出し...  
キャンセル OK

「文字組み」のデフォルト設定「行末約物半角」の設定内容。

一例として、「行末設定」の最小＝最適＝最大＝0%は、0%以外のアキは許容しないことを意味します。この場合、行末にアキは入らず、調整の対象にもなりません

この「文字組み」とベースとなっている「文字組みアキ量設定」については、30ページ以降で機能の詳細、およびその使いかたについて、くわしく解説をしています。

## 文字組みの基本 / 段落パネル⑦

# 「ぶら下がり」を使って 句読点をテキストエリア外に置く

「ぶら下がり」は、句読点類に限って、その字幅分（半角）を版面の外に配置する組版方法です。一般的に縦のベタ組みで組まれる文芸書などで行なわれている手法で、字送り方向の文字の並びがマス目状に維持されることで、読む目が文字を追いやすくなり、結果的に読みやすく、誤読を招きにくいという視覚的効果があります。

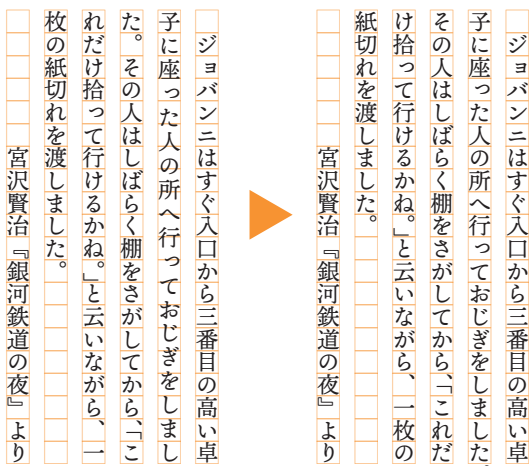
また、組版処理においても、行頭禁則文字である句読点類

を処理するために、ほかの部分で字間をツメて行中に「追い込む」、または前の文字をともなって次行に「追い出し」て当該行の字間を調整する（ばらす）処理をする必要もなくなるという、負担軽減効果もあります。

Illustrator では、「なし」「標準」「強制」の3種類の「ぶら下がり」設定があり、「強制」を選ぶと、行末の句読点がかならずぶら下がりになります。



「ぶら下がり」は段落パネルフライアウトメニューの「ぶら下がり」から設定します。「ぶら下がり」にできる文字は、「禁則処理」の設定で定義されており、デフォルト設定では、全角の句点「。」／読点「、」／カンマ「,」／ピリオド「.」の4文字が指定されています（「弱い禁則 v2」のみ、全角スペースも対象）



「ぶら下がり」適用前（左）と適用後（右）

句読点類が行末丁度に位置する例 / いろは、

にはへとちりぬるをわかよたれそ

行頭禁則にかかって追い出された例 / いろ

は、にはへとちりぬるをわかよたれそ

行頭禁則にかかって、追い込まれた例 / いろ、

はにはへとちりぬるをわかよたれそ

ぶら下がり：なし

句読点類が行末丁度に位置する例 / いろは、

にはへとちりぬるをわかよたれそ

行頭禁則にかかって追い出された例 / いろは、

にはへとちりぬるをわかよたれそ

行頭禁則にかかって、追い込まれた例 / いろ、

はにはへとちりぬるをわかよたれそ

ぶら下がり：標準

句読点類が行末丁度に位置する例 / いろは、

にはへとちりぬるをわかよたれそ

行頭禁則にかかって追い出された例 / いろは、

にはへとちりぬるをわかよたれそ

行頭禁則にかかって、追い込まれた例 / いろ、

はにはへとちりぬるをわかよたれそ

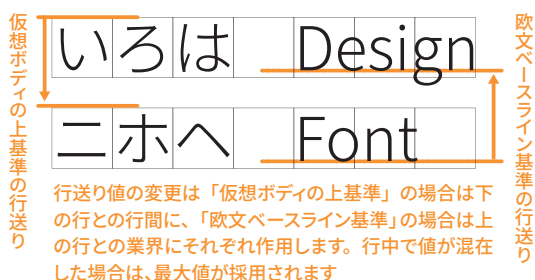
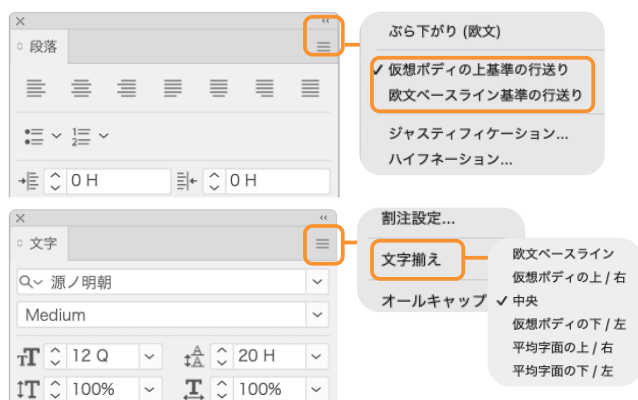
ぶら下がり：強制

## 文字組みの基本／段落パネル⑧

# 「行送りの基準位置」と「文字揃え」の設定

段落パネルフライアウトメニューにある「行送りの基準位置」は、「行送りを計算する基準をどこにおくか」を決定する機能で、文字組み関係の設定のなかでは、非常に重要な項目です。おもに行中にサイズの異なる文字が混在した際に、文字パネルの「文字揃え」設定とともに影響し合い、文字組みの表情を大きく変えることとなります。

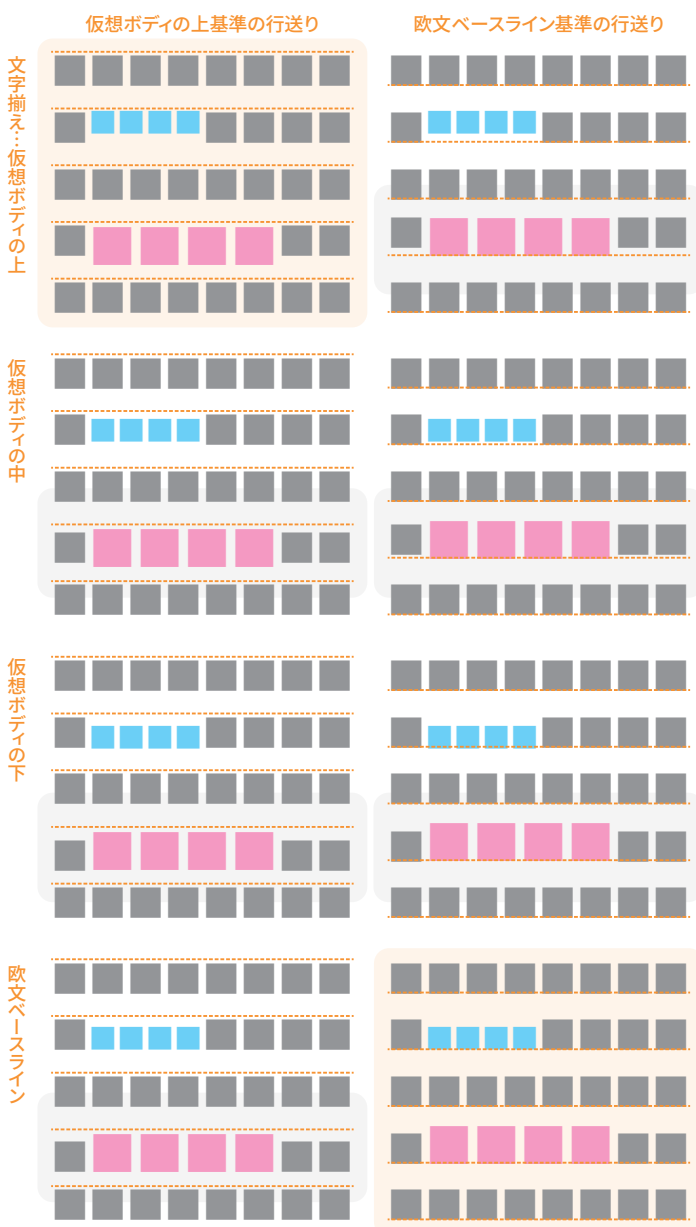
「行送りの基準位置」には、「仮想ボディの上基準の行送り」と「欧文ベースライン基準の行送り」の2種類があり、日本語組版ではデフォルトの「仮想ボディの上基準の行送り」



「文字揃え」は①「仮想ボディの上/右」、②「仮想ボディの中央」、③「仮想ボディの下/左」、④「欧文ベースライン」、⑤「平均字面の上/右」、⑥「平均字面の下/左」の6種類から選択できます

基準となる文字(■)より大きい文字(■)が混在すると、行送りが乱れて見える場合があることを例示したもの。小さい文字(■)が混在する場合は問題ありません。具体的には、「行送りの基準位置」と「文字揃え」が異なっていると乱れて見えるため、設定を揃えたうえでベースラインシフト(15ページ参照)などで調整する必要があります

を使用します(下図)。「文字揃え」には、仮想ボディを基準にする3種類、「欧文ベースライン」、平均字面を基準にする2種類の計6種類があります。「文字揃え」は、行中にサイズの異なる文字が混在した場合、その最大値を基準にするという仕様になっており、行送りの基準位置と文字揃えの組み合わせ次第でさまざまな調整が必要になります。



## 文字組みの基本 / 段落パネル⑨

# そのほかの段落パネル 関連機能

文字パネルには、これまでに紹介したものの以外にも、日本語組版に関連した機能、設定があります。

① **コンポーザー**...Illustratorには、改行位置を決定する際に、行単位で判断するか、段落全体で判断するかを決定するコンポーザーと呼ばれる機能があります。前者は「Adobe 日本語単数行コンポーザー」、後者は「Adobe 日本語段落コンポーザー」と呼ばれ、デフォルトでは「Adobe 日本語単数行コンポーザー」が選択されています。

設定の差を視覚化した右例を見ると、「Adobe 日本語単数行コンポーザー」では1、2行目は問題ありませんが、4行目の先頭にある欧文文字列が分割禁止になるために前行から追い出されています。その結果、3行目を均等配置にするための行長調整量が大きくなり、不自然な字間が発生しています。一方の「Adobe 日本語段落コンポーザー」では、必要な行長調整量をさらに前の行にも割り振って不自然さを緩和していますが、欧文を追い込む方向で処理することはできず、全体がばらついているとも言えます。いずれの設定でも、調整を加えて前行に追い込むなどの判断を適宜、行なうことで文字組みを整える必要があります。

② **ジャスティフィケーション**...欧文組版において単語間のアキをコントロールする「ジャスティフィケーション設定」にある「自動行送り」は日本語組版においても有効な設定です。文字パネルの「行送り」の選択肢にある「自動」を選択した場合の行送り値の算出方法を指定するもので、デフォルトは「175%」となっています。たとえば、16Qの文字であれば、 $16 \times 1.75 = 28H$ が自動計算された行送り値となり、文字サイズでは(28H)というように( )つきで表示されます。



いろはに、ほへとち、ちりぬるをわかよた、  
れそつね、ならむう、ゐのおく、やまけふ、  
こえてあ、さきゆめ、みしゑひ、  
Typography、もせすん

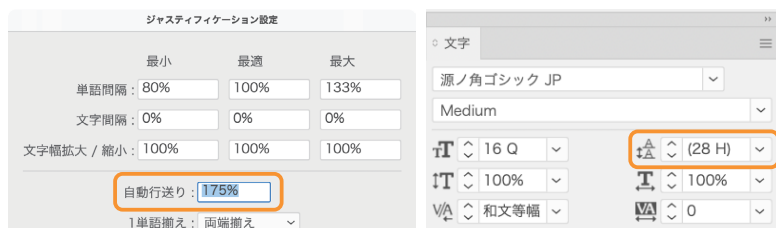
日本語単数行コンポーザー (デフォルト)

いろはに、ほへとち、ちりぬるをわかよ  
た、れそつね、ならむう、ゐのおく、や  
まけふ、こえてあ、さきゆめ、みしゑひ、  
Typography、もせすん

日本語段落コンポーザー

いろはに、ほへとち、ちりぬるをわかよた、  
れそつね、ならむう、ゐのおく、やまけふ、こ  
えてあ、さきゆめ、みしゑひ、Typography、  
もせすん

日本語単数行コンポーザーが適用されたテキストに対して調整を加えたもの。  
2行目を1字分追い込むため、4箇所の読点の後ろにある二分(50%)のアキを「ア  
キを挿入(後)」で四分(25%)に変更。25%\*4=100%



「ジャスティフィケーション設定」にある「自動行送り」設定と文字パネルでの表示

## 文字組みの手引き 〈日本語組版入門〉

# 実践編

### 概論

- 等間隔に文字を並べる「ベタ組み」  
文字幅にあわせて並べる「ツメ組み」 ..... 30

### 文字組みアキ量設定

- ① 文字間のアキのルールを決める  
「文字組みアキ量設定」 ..... 31
- ② 「文字組みアキ量設定」が果たす役割 ..... 33
- ③ 文字組みアキ量設定によるテキスト調整のしくみ ..... 34
- ④ 文字組み設定「ベタ組み」の設定内容と挙動 ..... 35
- ⑤ 文字組み設定「ベタ組み」と  
「行末約物全角／半角」の違い ..... 36
- ⑥ 文字組み設定「ツメ組み」の設定内容と挙動 ..... 37

### ベタ組み推奨設定

- ① ベタ組み向けパネル推奨設定 ..... 38
- ② ベタ組みに最適なテキストエリアを作成するには ..... 39

### ツメ組み推奨設定

- ① ツメ組み向けパネル推奨設定 (1) ..... 40
- ② ツメ組み向けパネル推奨設定 (2) ..... 41

### アケ組み

- テキストをきれいなアケ組みに設定するには ..... 42

## 文字組みの実践／概論

# 等間隔に文字を並べる「ベタ組み」

## 文字幅にあわせて並べる「ツメ組み」

日本語の文字の組みかたは、大きく「ベタ組み」「ツメ組み」に大別されます。Illustrator でテキストを扱うときも、この2つのいずれかを意識的に選択する必要があります。「ベタ組み」は、正方形を基準に作られた文字を隙間なく並べる組みかたです。文字が均等に並ぶため、一定のリズムで読み進めることができ、本文などの長い文章に適しています。

## 「ベタ組み」の例

タイポグラフィ

「ジョバンニはすぐ入口から三番目の高い卓子に座った人の所へ行っておじぎをしました。その人はしばらく棚をさがしてから、「これだけ拾って行けるかね。」と云いながら、一枚の紙切れを渡しました。ジョバンニはその人の卓子の足もとから一つの小さな平たい函をとりだして向うの電燈のたくさんついた、たてかけてある壁の隅の所へしゃがみ込むと小さなピンセットでまるで粟粒ぐらいの活字を次から次と拾いはじめました。」

宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

「ジョバンニはすぐ入口から三番目の高い卓子に座った人の所へ行っておじぎをしました。その人はしばらく棚をさがしてから、「これだけ拾って行けるかね。」と云いながら、一枚の紙切れを渡しました。ジョバンニはその人の卓子の足もとから一つの小さな平たい函をとりだして向うの電燈のたくさんついた、たてかけてある壁の隅の所へしゃがみ込むと小さなピンセットでまるで粟粒ぐらいの活字を次から次と拾いはじめました。」

グラフィック  
デザインと  
タイポグラフィ

グラフィック  
デザインと  
タイポグラフィ

## 「ツメ組み」の例

タイポグラフィ

ジョバンニはすぐ入口から三番目の高い卓子に座った人の所へ行っておじぎをしました。その人はしばらく棚をさがしてから、「これだけ拾って行けるかね。」と云いながら、一枚の紙切れを渡しました。ジョバンニはその人の卓子の足もとから一つの小さな平たい函をとりだして向うの電燈のたくさんついた、たてかけてある壁の隅の所へしゃがみ込むと小さなピンセットでまるで粟粒ぐらいの活字を次から次と拾いはじめました。」

宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

ジョバンニはすぐ入口から三番目の高い卓子に座った人の所へ行っておじぎをしました。その人はしばらく棚をさがしてから、「これだけ拾って行けるかね。」と云いながら、一枚の紙切れを渡しました。ジョバンニはその人の卓子の足もとから一つの小さな平たい函をとりだして向うの電燈のたくさんついた、たてかけてある壁の隅の所へしゃがみ込むと小さなピンセットでまるで粟粒ぐらいの活字を次から次と拾いはじめました。」

グラフィック  
デザインと  
タイポグラフィ

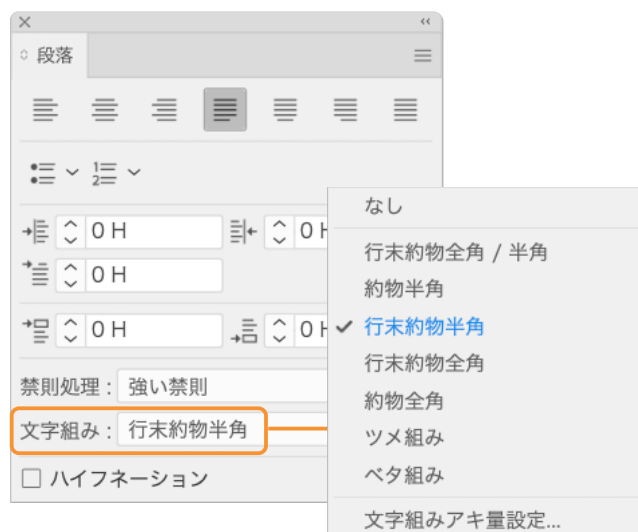
グラフィック  
デザインと  
タイポグラフィ

## 文字組みの実践／文字組みアキ量設定①

# 文字間のアキのルールを決める 「文字組みアキ量設定」

段落パネルの「文字組み」は、日本産業規格（JIS）が定める組版ルール（JIS X 4051 日本語文書の組版方法）をベースにしたテキスト処理を行なうための機能で、約物の処理および行末の処理の違いによって、7種類の設定が用意されています。

7種類のうち、「行末約物半角」「約物半角」「行末約物全角」「約物全角」の4種はJIS X 4051に準拠した伝統的な組版設定です。これに対し、「行末約物全角／半角」「ベタ組み」「ツメ組み」は英数字が多用される、現在の日本語テキストの傾向に合わせた調整を行なった設定になっており、たとえば日本語／英数字間のアキは、25%（四分）から0%（ベタ）を基本にした設定に変更されています。



## 行末約物全角／半角

Adobe Illustrator は、1986年に発売されたドローソフトです。1990年代から2000年代にかけて、パーソナルコンピュータによるデザイン制作「DTP」への移行を牽引し、現在でもさまざまなクリエイティブの現場で、活用されています。

【半角英字前後のアキ】  
最小－最適－最大  
0%－0%－12.5%

ジョバンニはすぐ入口から三番目の高い卓子に座った人の所へ行っておじぎをしました。その人はしばらく棚をさがしてから、「これだけ拾って行けるかね。」と云いながら、一枚の紙切れを渡しました。宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

【行末の約物の処理】\*  
最小－最適－最大  
0%－50%－50%

## 約物半角

Adobe Illustrator は、1986年に発売されたドローソフトです。1990年代から2000年代にかけて、パーソナルコンピュータによるデザイン制作「DTP」への移行を牽引し、現在でもさまざまなクリエイティブの現場で、活用されています。

【半角英字前後のアキ】  
最小－最適－最大  
12.5%－25%－50%

ジョバンニはすぐ入口から三番目の高い卓子に座った人の所へ行っておじぎをしました。その人はしばらく棚をさがしてから、「これだけ拾って行けるかね。」と云いながら、一枚の紙切れを渡しました。宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

【行末の約物の処理】\*  
最小－最適－最大  
0%－0%－0%

## 行末約物半角

Adobe Illustrator は、1986年に発売されたドローソフトです。1990年代から2000年代にかけて、パーソナルコンピュータによるデザイン制作「DTP」への移行を牽引し、現在でもさまざまなクリエイティブの現場で、活用されています。

【半角英字前後のアキ】  
最小－最適－最大  
12.5%－25%－50%

ジョバンニはすぐ入口から三番目の高い卓子に座った人の所へ行っておじぎをしました。その人はしばらく棚をさがしてから、「これだけ拾って行けるかね。」と云いながら、一枚の紙切れを渡しました。宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

【行末の約物の処理】\*  
最小－最適－最大  
0%－0%－0%

## 行末約物全角

Adobe Illustrator は、1986年に発売されたドローソフトです。1990年代から2000年代にかけて、パーソナルコンピュータによるデザイン制作「DTP」への移行を牽引し、現在でもさまざまなクリエイティブの現場で、活用されています。

【半角英字前後のアキ】  
最小－最適－最大  
12.5%－25%－50%

ジョバンニはすぐ入口から三番目の高い卓子に座った人の所へ行っておじぎをしました。その人はしばらく棚をさがしてから、「これだけ拾って行けるかね。」と云いながら、一枚の紙切れを渡しました。宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

【行末の約物の処理】\*  
最小－最適－最大  
0%－50%－50%

## 約物全角

Adobe Illustrator は、1986年に発売されたドローソフトです。1990年代から2000年代にかけて、パーソナルコンピュータによるデザイン制作「DTP」への移行を牽引し、現在でもさまざまなクリエイティブの現場で、活用されています。

【半角英字前後のアキ】  
最小－最適－最大  
12.5%－25%－50%

ジョバンニはすぐ入口から三番目の高い卓子に座った人の所へ行っておじぎをしました。その人はしばらく棚をさがしてから、「これだけ拾って行けるかね。」と云いながら、一枚の紙切れを渡しました。宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

【行末の約物の処理】\*  
最小－最適－最大  
50%－50%－50%

\* 中点(・)を除くは、ほかの「文字組みアキ量設定」と比較する際、差が顕著な点を示しています

文字組みアキ量設定

名前:  単位:

行末設定

		最小	最適	最大	優先順位
)   → ...	終わり括弧類 → 行末	0 %	0 %	0 %	0
、   → ...	読点類 → 行末	0 %	0 %	0 %	0
。   → ...	句点類 → 行末	0 %	0 %	0 %	0
・   → ...	中点類 → 行末	0 %	0 %	0 %	0

行頭設定

		最小	最適	最大	優先順位
¶  →     (	段落先頭 → 始め括弧類	0 %	0 %	0 %	0
¶  → あ	段落先頭 → 非約物	0 %	0 %	0 %	0
... →     (	行頭 → 始め括弧類	0 %	0 %	0 %	0

行中設定

		最小	最適	最大	優先順位
あ →     (	非約物 → 始め括弧類	0 %	50 %	50 %	3
)   → あ	終わり括弧類 → 非約物	0 %	50 %	50 %	3
)   →     (	終わり括弧類 → 始め括弧類	0 %	50 %	50 %	3
、   →     (	読点類 → 始め括弧類	0 %	50 %	50 %	2
、   → あ	読点類 → 非約物	0 %	50 %	50 %	2
。   →     (	句点類 → 始め括弧類	0 %	50 %	50 %	3
。   → あ	句点類 → 非約物	0 %	50 %	50 %	0 ★5
あ・   あ	中点類の前後	0 %	25 %	25 %	1 ★4

欧文の前後

		最小	最適	最大	優先順位
あ  A  あ	半角英字前後の非約物	12.5 % ★1	25 % ★2	50 % ★3	4
あ  9  あ	半角英数字前後の非約物	12.5 %	25 %	50 %	4

新規... 保存 削除 読み込み... 書き出し... キャンセル OK

段落パネルにある「文字組み」のリストにある「文字組みアキ量設定」を選ぶ、

または「書式」メニューの「文字組みアキ量設定」をクリックすると、設定ダイアログを開くことができます(上図)。

このダイアログでは、隣り合う文字同士にどのくらいのアキを挿入するかについて、最小値/最適値/最大値を自由に設定することができます

最小値のとき  
12.5% (★1)

あ A ああ あ A ああ

最適値のとき  
25% (★2)

あ A ああ あ A ああ

最大値のとき  
50% (★3)

あ A ああ あ A ああ

各文字同士のアキ量には、最小値/最適値/最大値を設定することができます。最適値を基準に、改行位置決定にあたり、字間をつめる必要がある場合は最小値を下限に調整され、あける必要がある場合は最大値を上限に調整されます。たとえば、「あ A あ」というテキストが文中にある場合、「半角英字前後の非約物」の設定値に従い、12.5%~50%の範囲で字間が調整されます

あ・あ。あ

「中点類の前後」優先順位:1(★4) 「句点類->非約物」優先順位:0(★5)

あ・あ。あ

先につまる 優先順位を含むアキを使い切ったらつめる

「優先順位」は、字間を調整する際の処理順序を決めることができる機能です。0~9の10段階で設定でき、数値の順に1・2・3...と調整が行なわれ、最後に0が処理されます。たとえば、上の例「あ・あ。あ」では、優先度:0の「あ」よりも、優先度:1の「あ・あ」のほうが先に調整されることとなります

## 文字組みの実践 / 文字組みアキ量設定②

# 「文字組みアキ量設定」が果たす役割

一般的にベタ組みでは、文字サイズの整数倍でテキストエリアの行長（横組みでは幅、縦組みでは高さ）を設定しますが、ツメ組みの場合は特に制約はありません。★1  
これはベタ組みが正方形の仮想ボディの中にデザインされた文字を、その正方形の隙間がないように並べていく組みかたであるのに対し、ツメ組みは文字個別の字幅を目安に並べていく組みかただからです。★2  
しかし、本文組版で使われる「均等配置最終行左 / 上揃え」のテキストでは、必ずしも理想的な文字の並びになるとは限りません。たとえば、ベタ組みでは、さまざまな組版ルール（禁則処理、連続約物間のアキの調整）や内容の違い（ルビや和欧混植など）によって、文字サイズを基準にした均等字送りは崩れ★3、ツメ組みは個別の字幅を基準に文字を並べるのですから、指定の行長に揃わないのが普通です。そのとき、それぞれの行の中で「どの部分を」「どのような順番で」「どの程度つめる / あけるのか」というルールを、あらかじめ設定しておき、その行ごとに最適の配置を実現するのが「文字組みアキ量設定」の役割です。★4  
この機能を活用することで、美しい文字組みを、手軽に手に入れることができるようになります。★5

★1…ただし、使用する書体の本来の文字の詰まりかたを確認したい場合や、ベタ組みとツメ組みの両方の効果を確認した上でどちらにするかを決めたい場合には、あらかじめベタ組みの場合と同じく、行長を文字サイズの整数倍に設定しておく便利です。★2…この違いがあるために、行長調整方法もベタ組みとツメ組みでは自ずと異なることになります。新しい「文字組みアキ量設定」が「ベタ組み」「ツメ組み」に分かれているのはこのためです。★3…ベタ組みの行長調整の手間を軽減する処理として発明されたのが「ぶら下がりがり」です。★4…「文字組みアキ量設定」の設定ダイアログは、「書式」メニューまたは段落パネルの「文字組み」のリストから呼び出すことができます。先に触れた「連続約物間のアキの調整」も担当します。★5…「文字組みアキ量設定」に加えて、禁則処理セットの設定や禁則調整方式の選択によって、さらに細かい文字組みのコントロールができるようになります。

文字組みアキ量設定

名前:

行末設定

		最小	最適
)   → ...	終わり括弧類 → 行末	0 %	0 %
\   → ...	読点類 → 行末	0 %	0 %
。   → ...	句点類 → 行末	0 %	0 %
・  → ...	中点類 → 行末	0 %	0 %

行頭設定

		最小	最適
¶  →   (	段落先頭 → 始め括弧類	0 %	0 %
¶  → あ	段落先頭 → 非約物	0 %	0 %
... →   (	行頭 → 始め括弧類	0 %	0 %

行中設定

		最小	最適
あ →   (	非約物 → 始め括弧類	0 %	50 %
)   → あ	終わり括弧類 → 非約物	0 %	50 %
)   →   (	終わり括弧類 → 始め括弧類	0 %	50 %
\   →   (	読点類 → 始め括弧類	0 %	50 %
\   → あ	読点類 → 非約物	0 %	50 %
。   →   (	句点類 → 始め括弧類	0 %	50 %
。   → あ	句点類 → 非約物	0 %	50 %
あ ・ あ	中点類の前後	0 %	25 %

欧文の前後

		最小	最適
あ A あ	半角英字前後の非約物	12.5 %	25 %
あ 9 あ	半角英数字前後の非約物	12.5 %	25 %

新規... 保存 削除

## 文字組みの実践／文字組みアキ量設定③

# 文字組みアキ量設定による テキスト調整のしくみ

実際のテキスト処理のなかで「文字組みアキ量設定」がどのように機能しているのか、挙動を確認しましょう。

下図は、「行末約物全角／半角」「行末約物半角」「行末約物全角」「約物全角」に共通する「行中設定」の画面です。この設定では、約物類は字幅半角で前、後または前後両方にアキをともなって全角幅となります。つめる必要がある場合は、「0%」(ベタ=アキなし)までつめることを許容し、あける場合は、全角幅以上にはしません。

この設定をもとに、優先順位との関係を例示してみます。図は、①調整不要なベタの状態に対して、それぞれ、②半角分(50%)、③全角分(100%)、④全角半分(150%)、⑤二角分(200%)をつめる必要がある状態です。②～⑤の約物前後のアキを見比べてみると、「文字組みアキ量設定」のダイ

アログにある「優先順位」の高いものから、**中点類>読点類>括弧類>句点類**の順に字間調整(ツメ調整)されることがわかります。このとき、優先順位が同じレベルの約物ばかりなら、平均的に調整が行なわれます。

逆に、字間をあける調整(アケ調整)が必要な場合を見えます。⑥は①から三点リーダーをひとつ削除して100%不足した状態、⑦はさらに三点リーダーを削除して200%不足した状態です。⑥は三点リーダーの前に設定されたアキの最大値(100%)によって不足分が吸収されています。⑦はすべてのアキの最大値(100%)を使い切っているため、不足分のアキ(100%)が全体の字間に等分に配分されています。このようなしくみで、11字入る行長に対して(⑧)、9字が配置されることとなります。

行中設定

		最小	最適	最大	優先順位
あ→ (	非約物→始め括弧類	0%	50%	50%	3
)  →あ	終わり括弧類→非約物	0%	50%	50%	3
)  → (	終わり括弧類→始め括弧類	0%	50%	50%	3
、  → (	読点類→始め括弧類	0%	50%	50%	2
、  →あ	読点類→非約物	0%	50%	50%	2
。  → (	句点類→始め括弧類	0%	50%	50%	3
。  →あ	句点類→非約物	0%	50%	50%	0
あ あ	中点類の前後	0%	25%	25%	1

- ① あ・あ、あ) あ。あ…… ①調整不要の状態(11字)
- ② あ・あ、あ) あ。あ…… ②①に半角分追加した状態。中点「・」の前後に調整が入ります
- ③ あ・あ、あ) あ。あ…… ③②に半角分追加した状態。読点「、」の後に調整が入ります
- ④ あ・あ、あ) あ。あ…… ④③に半角分追加した状態。括弧「)」の後に調整が入ります
- ⑤ あ・あ、あ) あ。あ…… ⑤④に半角分追加した状態。句点「。」の後に調整が入ります
- ⑥ あ・あ、あ) あ。あ …… ⑥①から「…」をひとつ削除。「…」前に最大値のアキが入ります(10字)
- ⑦ あ・あ、あ) あ。あ …… ⑦⑥からさらに「…」を削除。吸収しきれないアキが等配分されます(9字)
- ⑧ あ・あ、あ) あ。あ…… ⑧調整不要の状態(11字)

## 文字組みの実践 / 文字組みアキ量設定④

# 文字組み設定「ベタ組み」の 設定内容と挙動

文字組みアキ量設定「ベタ組み」は、「行末約物全角／半角」を元にカスタマイズされた設定です。

「行末約物全角／半角」は、英数字が多用される現在の日本語テキストの傾向に合わせて調整された、文字組みアキ量設定で、従来の「行末約物全角」に比べると「行末設定」の中点類と「欧文の前後」が変更されているほか、「約物と行末のアキ」は「50%」(半角アキ)か「0%」(ベタ＝アキなし)に固定されています。

「ベタ組み」は、「行末約物全角／半角」から、さらに「優先順位」や句点後のアキ等に調整が加えられています（次ページ参照）。

「ベタ組み」「行末約物全角／半角」は、「行末約物半角」「約物半角」「行末約物全角」「約物全角」に比べて、日本語／英数字間にアキが入りにくいため、英数字が頻出する現代のテキストでも、美しいベタ組みを実現することができるようになっています。

文字組みアキ量設定

名前:  単位:

行末設定

		最小	最適	最大	優先順位
)   → ...	終わり括弧類 → 行末	0 %	50 %	50 %	0 → 1
\   → ...	読点類 → 行末	0 %	50 %	50 %	0 → 1
o   → ...	句点類 → 行末	0 %	50 %	50 %	0 → 1
·  → ...	中点類 → 行末	0% → 25 %	0% → 25 %	0% → 25 %	0 → 1

行頭設定

		最小	最適	最大	優先順位
¶  →   (	段落先頭 → 始め括弧類	0 %	0 %	0 %	0
¶  → あ	段落先頭 → 非約物	0 %	0 %	0 %	0
... →   (	行頭 → 始め括弧類	0 %	0 %	0 %	0

行中設定

		最小	最適	最大	優先順位
あ →   (	非約物 → 始め括弧類	0 %	50 %	50 %	3 → 2
)   → あ	終わり括弧類 → 非約物	0 %	50 %	50 %	3 → 2
)   →   (	終わり括弧類 → 始め括弧類	0 %	50 %	50 %	3 → 2
\   →   (	読点類 → 始め括弧類	0 %	50 %	50 %	2 → 3
\   → あ	読点類 → 非約物	0 %	50 %	50 %	2 → 3
o   →   (	句点類 → 始め括弧類	0% → 12.5 %	50 %	50 %	3 → 4
o   → あ	句点類 → 非約物	0% → 12.5 %	50 %	50 %	0 → 4
あ ·  → あ	中点類の前後	0 %	25 %	25 %	1

欧文の前後

		最小	最適	最大	優先順位
あ A  → あ	半角英字前後の非約物	12.5 %	25% → 12.5 %	50% → 25 %	4
あ 9  → あ	半角英数字前後の非約物	12.5% → 0 %	25% → 0 %	50% → 12.5 %	4

新規... 保存 削除 読み込み... 書き出し...

**「行末約物全角」からの変更点** キャンセル OK

## 文字組みの実践／文字組みアキ量設定⑤

# 文字組み設定「ベタ組み」と「行末約物全角／半角」の違い

文字組みアキ量設定「ベタ組み」と、その元となった「行末約物全角／半角」は、おおむね同様の組み上がりとなりますが、以下の3点で変更が加えられています。

- ①句点類に関わる最小値を「0%」から「12.5%」に変更
  - ②約物に対する「優先順位」を変更
  - ③日本語と半角英字のアキ量を変更
- ①「行末約物全角／半角」では「0%」に設定されている句点後のアキの最小値を「12.5%」にすることで、句点に

よる区切り感が保たれるようにしています。

- ②行中の読点類と括弧類の「優先順位」を入れ替えることで、句読点がつまるタイミングを遅らせています。

行末約物全角／半角…**中点類** > **読点類** > **括弧類** > **句点類**

ベタ組み…**中点類** > **括弧類** > **読点類** > **句点類**

- ③日本語と半角英字のアキの最小・最適値を「0%」から「12.5%」に、最大値を「12.5%」から「25%」にすることで英字の可読性を向上させています。

文字組みアキ量設定

名前:  単位:

行末設定

		最小	最適	最大	優先順位
)   → ...	終わり括弧類 → 行末	0 %	50 %	50 %	1
\   → ...	読点類 → 行末	0 %	50 %	50 %	1
o   → ...	句点類 → 行末	0 %	50 %	50 %	1
·  → ...	中点類 → 行末	25 %	25 %	25 %	0 → 1

行頭設定

		最小	最適	最大	優先順位
¶  →   (	段落先頭 → 始め括弧類	0 %	0 %	0 %	0
¶  → あ	段落先頭 → 非約物	0 %	0 %	0 %	0
... →   (	行頭 → 始め括弧類	0 %	0 %	0 %	0

行中設定

		最小	最適	最大	優先順位
あ →   (	非約物 → 始め括弧類	0 %	50 %	50 %	3 → 2
)   → あ	終わり括弧類 → 非約物	0 %	50 %	50 %	3 → 2
)   →   (	終わり括弧類 → 始め括弧類	0 %	50 %	50 %	3 → 2
\   →   (	読点類 → 始め括弧類	0 %	50 %	50 %	2 → 3
\   → あ	読点類 → 非約物	0 %	50 %	50 %	2 → 3
o   →   (	句点類 → 始め括弧類	0% → 12.5 %	50 %	50 %	3 → 4
o   → あ	句点類 → 非約物	0% → 12.5 %	50 %	50 %	0 → 4
あ ·  → あ	中点類の前後	0 %	25 %	25 %	1

欧文の前後

		最小	最適	最大	優先順位
あ A  → あ	半角英字前後の非約物	0% → 12.5 %	0% → 12.5 %	12.5% → 25 %	4
あ 9  → あ	半角英数字前後の非約物	0 %	0 %	12.5 %	4

新規... 保存 削除 読み込み... 書き出し...

**「行末約物全角／半角」からの変更点** キャンセル OK

## 文字組みの実践 / 文字組みアキ量設定⑥

# 文字組み設定「ツメ組み」の設定内容と挙動

文字組みアキ量設定「ツメ組み」は、「ベタ組み」と同じように「行末約物全角／半角」を元にカスタマイズされた設定です。

「ツメ組み」は、各項目で不必要なアキが発生しない状態を基本に、区切りとしての句点には可能な範囲でアキを確保するように設計されています。

各設定項目の最小・最適値は「0%」を基本に、行中の句点類に関わる部分のみ最適値を「12.5%」とし、優先順位

は「ベタ組み」とは逆の設定になっています。

この設定では、句点類以外の約物類は基本的にはベタの状態に配置され、行長調整の必要が生じた際には、調整に必要なアキは最大値を限度に配分され、それでも行長に満たない場合は、行全体で延ばし処理されることとなります。デフォルトの文字組み設定「行末約物半角」に比べると、テキスト全体をタイトに組むことができ、特に日本語／英数字が混在するテキストではその差が顕著に現れます。

文字組みアキ量設定

名前: ツメ組み 単位: %

### 行末設定

		最小	最適	最大	優先順位
)   → ...	終わり括弧類 → 行末	0 %	0 %	0 %	0 → 1
\\   → ...	読点類 → 行末	0 %	0 %	0 %	0 → 1
o   → ...	句点類 → 行末	0 %	0 %	0 %	0 → 1
·  → ...	中点類 → 行末	0 %	0 %	0 %	0 → 1

### 行頭設定

		最小	最適	最大	優先順位
¶  →   (	段落先頭 → 始め括弧類	0 %	0 %	0 %	0
¶  → あ	段落先頭 → 非約物	0 %	0 %	0 %	0
... →   (	行頭 → 始め括弧類	0 %	0 %	0 %	0

### 行中設定

		最小	最適	最大	優先順位
あ →   (	非約物 → 始め括弧類	0 %	50% → 0 %	50 %	3
)   → あ	終わり括弧類 → 非約物	0 %	50% → 0 %	50 %	3
)   →   (	終わり括弧類 → 始め括弧類	0 %	50% → 0 %	50 %	3
\\   →   (	読点類 → 始め括弧類	0 %	50% → 0 %	50 %	2
\\   → あ	読点類 → 非約物	0 %	50% → 0 %	50 %	2
o   →   (	句点類 → 始め括弧類	0 %	50% → 12.5 %	50 %	3 → 1
o   → あ	句点類 → 非約物	0 %	50% → 12.5 %	50 %	0 → 1
あ · あ	中点類の前後	0 %	25% → 0 %	25 %	1 → 4

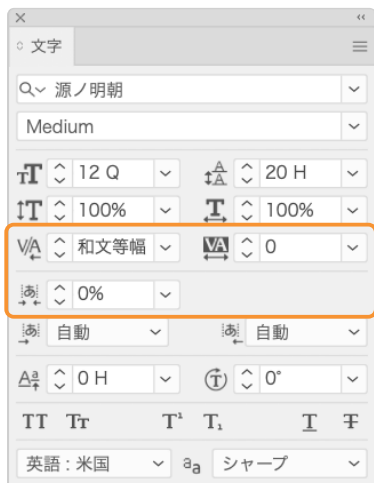
### 欧文の前後

		最小	最適	最大	優先順位
あ A あ	半角英字前後の非約物	12.5% → 0 %	25% → 0 %	50% → 12.5 %	4 → 1
あ 9 あ	半角英数字前後の非約物	12.5% → 0 %	25% → 0 %	50% → 12.5 %	4 → 1

新規... 保存 削除 読み込み... 書き出し...

**「行末約物半角」との比較** キャンセル OK

## 文字組みの実践／ベタ組み推奨設定①

ベタ組み向け  
パネル推奨設定

## カーニング:和文等幅



## 禁則処理:弱い禁則 v2 (任意)

## 文字組み:ベタ組み



## プロポーショナルメトリクス:オフ

字間を調整する機能は、「カーニング:和文等幅」以外、設定しないようにします。「トラッキング」や「文字ツメ」、「プロポーショナルメトリクス」が設定されていたり、文字に変形がかかっていると、正確なベタ組みにならないので注意が必要です

家へは帰らずジョバンニが町を三つ曲ってある大きな活版処にはいつてすぐ入口の計算台に居ただぶだぶの白いシャツを着た人におじぎをしてジョバンニは靴をぬいで上りますと、突き当りの大きな扉をあけました。中にはまだ昼なのに電燈がついてたくさんの輪転器がぼたりぼたりとまわり、きれで頭をしぼったりラムブシェードをかけたりした人たちが、何か歌うように読んだり数えたりしながらたくさん働いて居りました。宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

「Adobe Illustrator」の最初のバージョンは、1987年にMacintosh向けに発売されました。1988年にリリースされたIllustrator 88（バージョン1.6）から日本語に対応し、1989年のバージョン2.0はWindows版として発売されました。以降、機能を強化しながらバージョンを重ねていき、なかでもバージョン5.5（1994年）とバージョン8.0（1998年）は、安定性の高さから多くのユーザーの支持を獲得。1990年代から2000年代にかけて、写植からパーソナルコンピュータによるデザイン・制作=DTPへの移行を牽引する役割を果たしました。

## [Illustratorのデフォルト設定]

カーニング:和文等幅／禁則処理:強い禁則

文字組み:行末約物半角／プロポーショナルメトリクス:オフ

家へは帰らずジョバンニが町を三つ曲ってある大きな活版処にはいつてすぐ入口の計算台に居ただぶだぶの白いシャツを着た人におじぎをしてジョバンニは靴をぬいで上りますと、突き当りの大きな扉をあけました。中にはまだ昼なのに電燈がついてたくさんの輪転器がぼたりぼたりとまわり、きれで頭をしぼったりラムブシェードをかけたりした人たちが、何か歌うように読んだり数えたりしながらたくさん働いて居りました。宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

「Adobe Illustrator」の最初のバージョンは、1987年にMacintosh向けに発売されました。1988年にリリースされたIllustrator 88（バージョン1.6）から日本語に対応し、1989年のバージョン2.0はWindows版として発売されました。以降、機能を強化しながらバージョンを重ねていき、なかでもバージョン5.5（1994年）とバージョン8.0（1998年）は、安定性の高さから多くのユーザーの支持を獲得。1990年代から2000年代にかけて、写植からパーソナルコンピュータによるデザイン・制作=DTPへの移行を牽引する役割を果たしました。

## [ベタ組み向け推奨設定]

カーニング:和文等幅／禁則処理:弱い禁則 v2

文字組み:ベタ組み／プロポーショナルメトリクス:オフ

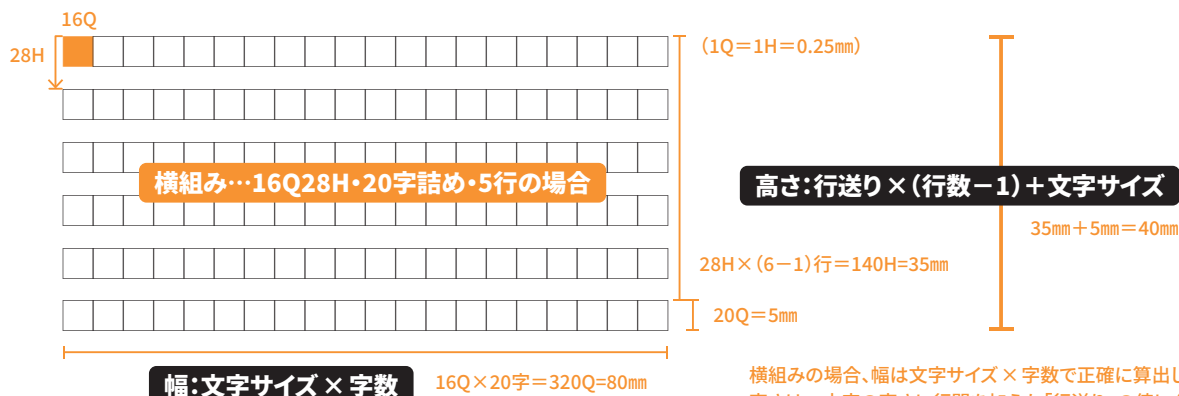
## 文字組みの実践／ベタ組み推奨設定②

# ベタ組みに最適な テキストエリアを作成するには

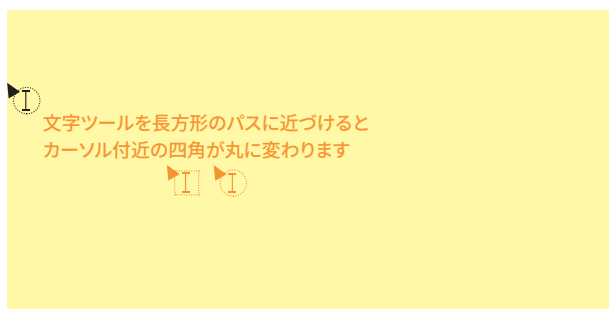
Illustratorでベタ組みをするには、各パネルの設定だけでなく、テキストエリアのサイズが非常に重要です。テキストエリアのサイズが適正ではない場合、最終行以外で字間が開き、正確なベタ組みではなくなってしまいます。テキストエリアのサイズは、横組みなら幅を、縦組みなら高さを、文字サイズの整数倍に設定します。

テキストエリアを作成するには、長方形ツールで指定サイズの長方形を作成し、エリア内文字ツールでテキストエリアに変換します。

すでにあるテキストエリアのサイズを変更する場合は、オブジェクトを選択した状態で「書式」メニューの「エリア内文字オプション」を開き、幅または高さを変更します。



横組みの場合、幅は文字サイズ×字数で正確に算出します。高さは、文字の高さに行間を加えた「行送り」の値に(行数-1)をかけ、1行分の文字の高さを加えて算出します



長方形ツールでアートボードをクリックし、ダイアログに算出した数値を入力します。入力欄はmmによる指定以外に、16\*20Qや320Qといった入力にも対応しています。文字ツールで作成した長方形のパスをクリックし、長方形をテキストエリアに変換します

中にはまだ昼なのに電燈がついてたくさんの輪転器がばたりばたりとまわり、きれで頭をしぼったりランプシェードをかけた人たち、何か歌うように読んだり数えたりしながらたくさん働いて居りました。

宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

テキストエリアにテキストを流し込みます。正確なベタ組みになっているかどうかは、「左揃え」と「均等配置(最終行左揃え)」を見比べると判断できます(横組みの場合)

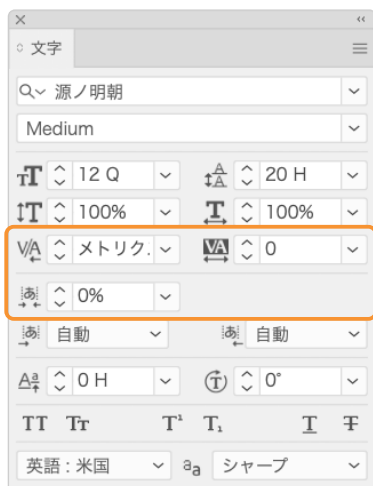
中にはまだ昼なのに電燈がついてたくさんの輪転器がばたりばたりとまわり、きれで頭をしぼったりランプシェードをかけた人たち、何か歌うように読んだり数えたりしながらたくさん働いて居りました。

サイズ設計が不適切なテキストエリアの例。最終行以外は字間があき、ベタ組みになっていません

## 文字組みの実践／ツメ組み推奨設定①

ツメ組み向け  
パネル推奨設定

(文字詰め情報があるフォントの場合／縦組み・横組み両対応)



カーニング:メトリクス



禁則処理:弱い禁則 v2 (任意)

文字組み:ツメ組み



プロポーショナルメトリクス:オン

「カーニング」を「メトリクス」に設定する場合は、あわせて「プロポーショナルメトリクス」をオンに設定します。セットで適用することで、メトリクスカーニングを設定したテキストに手動調整が必要な際、自動カーニングがリセットされるのを防ぐことができます。

家へは帰らずジョバンニが町を三つ曲ってある大きな活版処にはいつてすぐ入口の計算台に居ただぶだぶの白いシャツを着た人におじぎをしてジョバンニは靴をぬいで上りますと、突き当りの大きな扉をあけました。中にはまだ昼なのに電燈がついてたくさんの輪転器がぼたりぼたりとまわり、きれで頭をしばったりランプシェードをかけた人たちが、何か歌うように読んだり数えたりしながらたくさん働いて居りました。

宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

Adobe Illustrator の最初のバージョンは 1987 年に Macintosh 向けに発売されました。1988 年にリリースされた Illustrator 88 (バージョン 1.6) から日本語に対応し、1989 年のバージョン 2.0 は Windows 版として発売されました。以降、機能を強化しながらバージョンを重ねていき、なかでもバージョン 5.5 (1994 年) とバージョン 8.0 (1998 年) は、安定性の高さから多くのユーザーの支持を獲得。1990 年代から 2000 年代にかけて、写植からパーソナルコンピュータによるデザイン・制作=DTP への移行を牽引する役割を果たしました。

[メトリクスカーニングのみを使用した設定]  
カーニング:メトリクス／禁則処理:強い禁則  
文字組み:行末約物半角／プロポーショナルメトリクス:オン

家へは帰らずジョバンニが町を三つ曲ってある大きな活版処にはいつてすぐ入口の計算台に居ただぶだぶの白いシャツを着た人におじぎをしてジョバンニは靴をぬいで上りますと、突き当りの大きな扉をあけました。中にはまだ昼なのに電燈がついてたくさんの輪転器がぼたりぼたりとまわり、きれで頭をしばったりランプシェードをかけた人たちが、何か歌うように読んだり数えたりしながらたくさん働いて居りました。

宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

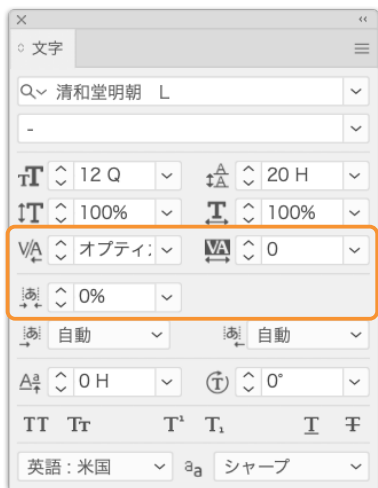
Adobe Illustrator の最初のバージョンは 1987 年に Macintosh 向けに発売されました。1988 年にリリースされた Illustrator 88 (バージョン 1.6) から日本語に対応し、1989 年のバージョン 2.0 は Windows 版として発売されました。以降、機能を強化しながらバージョンを重ねていき、なかでもバージョン 5.5 (1994 年) とバージョン 8.0 (1998 年) は、安定性の高さから多くのユーザーの支持を獲得。1990 年代から 2000 年代にかけて、写植からパーソナルコンピュータによるデザイン・制作=DTP への移行を牽引する役割を果たしました。

[ツメ組み向け推奨設定]  
カーニング:メトリクス／禁則処理:弱い禁則 v2  
文字組み:ツメ組み／プロポーショナルメトリクス:オン

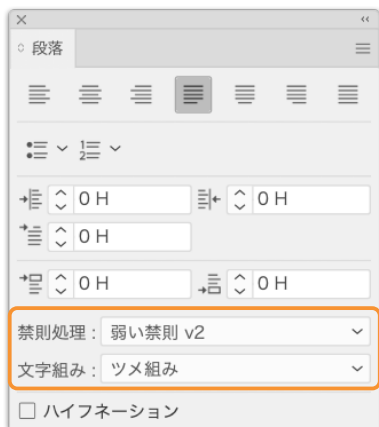
## 文字組みの実践／ツメ組み推奨設定②

ツメ組み向け  
パネル推奨設定

(文字詰め情報がないフォントの場合／横組みのみ対応・縦組み無効)



カーニング:オプティカル



禁則処理:弱い禁則 v2 (任意)

文字組み:ツメ組み



プロポーショナルメトリクス:無効

「プロポーショナルメトリクス」の項目がグレーアウトする場合、指定したフォントには文字詰め情報が含まれていません。和文の位置は「カーニング」値が「メトリクス」でも「和文等幅」でも「0」でも同じ結果になります。このようなフォントをツメ組みに使う場合は、「カーニング」値を「オプティカル」を指定します

家へは帰らずジョバンニが町を三つ曲ってある大きな活版処にはいってすぐ入口の計算台に居ただぶだぶの白いシャツを着た人におじぎをしてジョバンニは靴をぬいで上りますと、突き当りの大きな扉をあけました。中にはまだ昼なのに電燈がついてたくさんの輪転器がばたりばたりとまわり、きれで頭をしぼったりランプシェードをかけたりした人たちが、何か歌うように読んだり数えたりしながらたくさん働いて居りました。宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より

Adobe Illustrator の最初のバージョンは 1987 年に Macintosh 向けに発売されました。1988 年にリリースされた Illustrator 88 (バージョン 1.6) から日本語に対応し、1989 年のバージョン 2.0 は Windows 版として発売されました。以降、機能を強化しながらバージョンを重ねていき、なかでもバージョン 5.5 (1994 年) とバージョン 8.0 (1998 年) は、安定性の高さから多くのユーザーの支持を獲得。1990 年代から 2000 年代にかけて、写植からパーソナルコンピュータによるデザイン・制作=DTP への移行を牽引する役割を果たしました。

[メトリクスカーニングのみを使用した設定]  
カーニング:メトリクス／禁則処理:強い禁則  
文字組み:行末約物半角／プロポーショナルメトリクス:-

家へは帰らずジョバンニが町を三つ曲ってある大きな活版処にはいってすぐ入口の計算台に居ただぶだぶの白いシャツを着た人におじぎをしてジョバンニは靴をぬいで上りますと、突き当りの大きな扉をあけました。中にはまだ昼なのに電燈がついてたくさんの輪転器がばたりばたりとまわり、きれで頭をしぼったりランプシェードをかけたりした人たちが、何か歌うように読んだり数えたりしながらたくさん働いて居りました。

宮沢賢治『銀河鉄道の夜』より  
Adobe Illustrator の最初のバージョンは 1987 年に Macintosh 向けに発売されました。1988 年にリリースされた Illustrator 88 (バージョン 1.6) から日本語に対応し、1989 年のバージョン 2.0 は Windows 版として発売されました。以降、機能を強化しながらバージョンを重ねていき、なかでもバージョン 5.5 (1994 年) とバージョン 8.0 (1998 年) は、安定性の高さから多くのユーザーの支持を獲得。1990 年代から 2000 年代にかけて、写植からパーソナルコンピュータによるデザイン・制作=DTP への移行を牽引する役割を果たしました。

[ツメ組み向け推奨設定]  
カーニング:オプティカル／禁則処理:弱い禁則 v2  
文字組み:ツメ組み／プロポーショナルメトリクス:-

## 文字組みの実践／アケ組み

# テキストをきれいな アケ組みに設定するには

字間をつめて組む「ツメ組み」とは逆に、字間をあけて組むことを「アケ組み」と言います。タイトルやキャッチコピー、リードのような短いテキストをゆっくりと読ませたいときや、落ち着いた印象にしたいときに使われる組みかたです。アケ組みの場合、全体の字間をあけたあとに個別の字間を調整するより、個別の字間を調整した後で全体の

字間をあけるほうがスムーズに処理できます。

文字の配置を一定にしたい場合は「カーニング」を「和文等幅」に、各文字に設定された字幅を基づいて字間を一定にしたい場合は「カーニング」を「メトリクス」または「オプティカル」に設定します。次に「トラッキング」にプラス値を入力して、全体の字間をあけるとよいでしょう。

カーニング:和文等幅

書体…DNP 秀英にじみ初号明朝

## タイポグラフィーの世界へようこそ

トラッキングでアケ組みに

タイポグラフィーの世界へようこそ

カーニング:メトリクス

書体…DNP 秀英にじみ初号明朝

## タイポグラフィーの世界へようこそ

トラッキングでアケ組みに

タイポグラフィーの世界へようこそ

## タイポグラフィーの世界へようこそ

青:「カーニング:和文等幅」から「トラッキング」に+値を入れてアケ組みにしたもの  
赤:「カーニング:メトリクス」から「トラッキング」に+値を入れてアケ組みにしたもの  
同じ幅でのアケ組みでも、カーニングの設定値によって、組み上がりには大きな差が発生します。  
文字詰め情報を持たないフォントの場合、「カーニング:オプティカル」からアケ組みにすることで同様の処理が可能です